

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 奈良県 宇陀市

自治体名：奈良県宇陀市

担当課名：生涯学習課

電話番号：0745-82-3975

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	248km <sup>2</sup>
人口	26,691 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	552 人
部活動数	30 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	実証事業におけるガイドライン有

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

当市は平成18年に4町村が合併し誕生した市である。旧町村に各1校ずつ中学校があったため、現在も4校が存在している。面積が非常に広く通学には多くのスクールバスを運行し、通学を行っている。

現在部活動は、運登ります動系・文化系男女別に併せて30種目にのぼる。

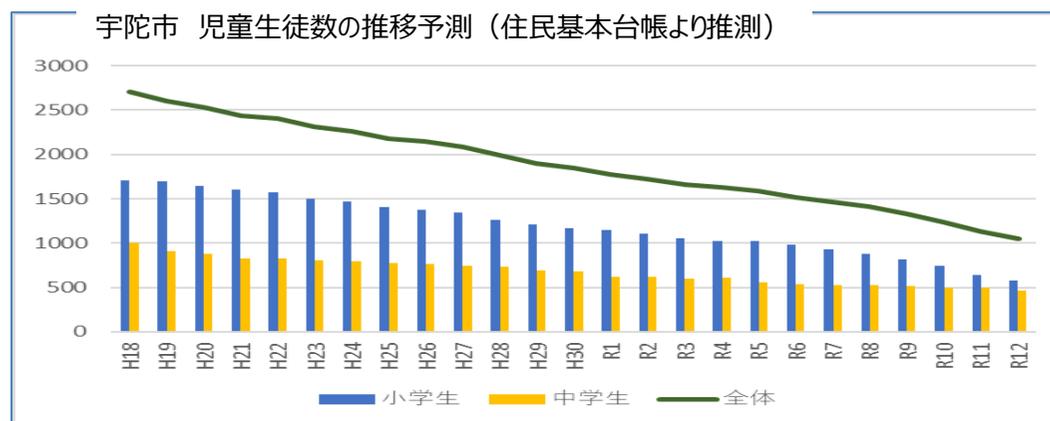
少子化に伴い種目数は30種目と多いのですが、単独チームが組めず他校と合同チームとして試合などに出場している種目もある。また、個人種目でも、人数が少ないが活動を続けている種目も多く、今後の部活動としても存続が非常

に心配である。

また、令和7年度からは1校で2種目の新規1年生の募集を停止すると聞いている。特に団体種目では、部活動部員の減少が著しく今後も単独でチームを組めない種目の増加が伺える。

当市では、1年間の出生者数の減少も懸念される。

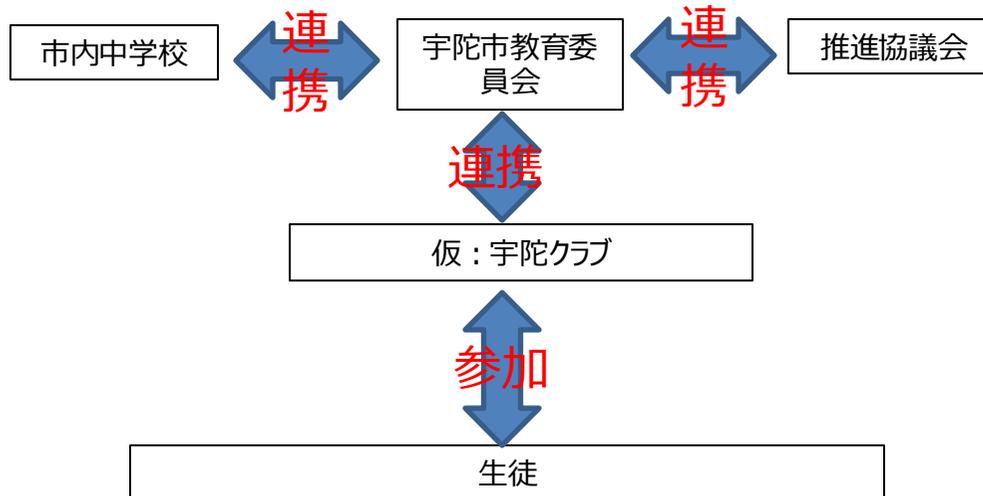
長年学校教育の一環（学校教育）として実施されてきた部活動を学校教育外の活動として、今のところ土日だけであるが、完全に移行することは難しいと考える。最大の課題は、指導者不足が要因である。



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### 教育委員会

教育総務課（学校体育担当課）

- ・市内中学校との連絡調整
- ・生徒・保護者・教職員へのアンケート調査

生涯学習課（スポーツ担当課）

- ・運営母体・運営主体・推進協議会の担当
- ・指導者の確保

##### 首長部局

行政経営課（公民連携系担当課）

- ・民間事業者への働きかけ

### 年間の事業スケジュール

令和6年5月	第1回推進協議会
令和6年7月	第2回推進協議会
令和6年9月	第3回推進協議会
令和6年10月	指導者研修会
令和6年11月	第4回推進協議会 実証事業開始
令和6年12月	指導者研修会 市広報誌特集掲載
令和7年1月	第5回推進協議会
令和7年3月	第6回推進協議会

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	4校	実施した地域クラブ総数	3クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ（3部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	11人	全体の運営スタッフ数	5人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
宇陀クラブ	行政	陸上競技	月 2～3回	8：30～ 11：30	13名 1年8名 2年5名	11月～ 3月	榛原中学 宇陀高校	5人	行政職2名 (内兼務2名)	なし	なし
宇陀クラブ	行政	卓球	月 2～3回	13：30～ 16：30	6名 1年生2名 2年生4名	11月～ 3月	榛原中学	5人	行政職2名 (内兼務2名)	なし	なし
宇陀クラブ	行政	剣道	月 2～3回	13：30～ 16：30	2年生1名	11月～ 3月	榛原中学	2人	行政職2名 (内兼務2名)	なし	なし

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 気軽に参加できるよう、体験入会OKとした

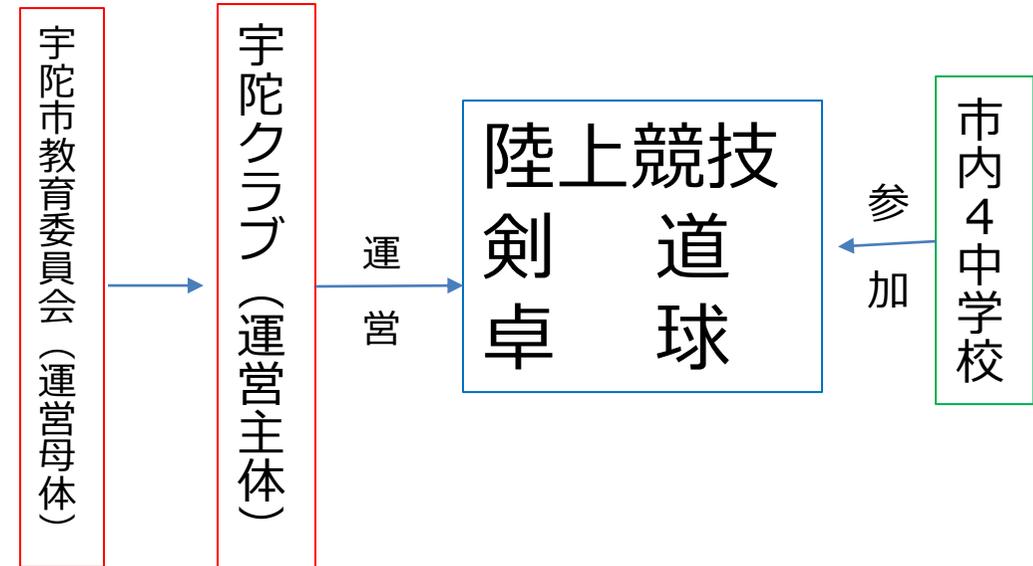
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●宇陀クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上・剣道・卓球
運営団体名	宇陀クラブ
期間と日数	陸上：11月16日～3月1日 月2回程度 剣道：11月9日～3月15日 月2回程度 卓球：11月9日～3月15日 月2回程度
指導者の主な属性	行政・民間・小中学校教諭
活動場所	榛原中学及び宇陀高校
主な移動手段	保護者送迎・徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：1,450円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 主任指導者（チーフ） 1名  
役割：活動内容等の決定・現場の責任を行う
- 運営補助者（コーチ） 4名  
役割：チーフが決定した活動内容の指導を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

推進協議会を2カ月に1回程度開催し、保護者の方の意見を中心に伺った。地元中学校でのPTAの会合にも協議会での内容を報告していただき、次回の協議会で発言していただき、保護者の方の意見を多く聞くことができた。

実証事業開始に向け、現部活動顧問へのヒアリングや教員向けに制度の説明などを行った。

実証事業開始に伴う、ガイドラインの作成や実施体制の整備に務めた

##### 取組の成果

実証事業開始に向け、ガイドラインの策定や基本方針を策定し、協議会で諮り策定した。市HPや教員メールなどでも周知を行ったが、中々理解していただくことが難しかった。

保護者からは、送迎の問題や地域クラブ指導者への信頼性などの意見が多くみられた。

教員へのヒアリングや、説明会などを開催したが反応はあまり無かった。早期にコーディネーターの配置が必要であるとする。

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

コーディネーターの配置はできなかったが、活動中の巡回を、市教育委員会の職員が交代で行った。

事務全般を担当課職員が行った。(コーディネーターの代わりとして)

##### 今後の課題と対応方針

担当課の事務量が多くなるため(専属ではないため)、実証事業実施にあたり、調整不足が生じた。

来年度は、専属職員を配置し令和8年度からの地域移行に対応していく予定である。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

令和6年8月より、宇陀市地域クラブ指導者登録バンクを開設し、指導者の登録の募集を行った。

実施する種目に登録された指導者を対象に面接及び指導者研修会を実施。

##### 人材バンクの人数

30名

##### 人材バンクの年齢構成

20代	6名
30代	3名
40代	6名
50代	3名
60代以上	12名

##### 登録者属性

職業は、自由記載とされているため全て把握できない  
公務員・会社員  
無職（年金受給者）  
小中校教員 など

##### 種目

陸上5名 剣道2名  
卓球5名 自転車競技2名  
吹奏楽2名 バスケット2名 琴  
三味線1名  
バドミントン2名 バレーボール  
2名 軟式野球2名 生け花  
1名 テニス1名 音楽1名  
書道2名

##### 資格有無

公認スポーツ指導員  
教員免許  
審判資格 等

##### 取組の成果

指導者人材バンクを開設した結果、現在30名の登録があった。現在も少しずつではあるが、登録者数が増えている状況である。登録種目は限定していないため多種の登録があり、今後どのように整理し、地域移行に繋げていくかが課題である。登録者の大半が60歳以上であるのも不安の1つである。

指導者の確保について、最大限広報を行った結果であると考え。今後も、指導者の確保を優先課題とする予定

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の内容

10月12日実施

対象：陸上・剣道・卓球指導者11名

- ①制度説明
- ②宇陀市学校部活動の地域クラブ活動への移行に関する基本方針
- ③宇陀市地域クラブ活動ガイドラインについて ④学校施設の使用法
- ⑤緊急時の対応 ⑥指導に当たっての心構え(ビデオ視聴)
- ⑦個人情報保護 ⑧身分証の携帯について ⑨指導者の委嘱
- ⑩活動予定日 ⑪指導者への連絡方法 ⑫クラブ活動実績について

12月14日実施 9名参加

奈良県広域消防組宇陀消防署による普通救急救命講習(3時間)の実施

##### 受講者の声

- 良かった点
  - ・技術面での指導 ・コーチも信頼できる人だった
  - ・指導内容が分かりやすかった ・しっかり丁寧に教えてくれる ・交流が増えた
  - ・友達が増えた ・他校の生徒と親しくなれた
  - ・普段一緒にできない高校生と練習できた
  - ・少人数で部活をしていたので丁度いい人数で楽しく
- 改善する点・要望
  - ・対象年齢を幅広くして宇陀市全体で取り組めばより楽しくなると思う
  - ・もう少し回数を増やしてほしい
  - ・他の学校や地域クラブの人との交流を増やしてほしい
  - ・高跳びの練習を増やしてほしい

### 今後の課題と対応方針

今後も定期的に指導者研修会を実施予定。地域クラブの指導者は、本研修会への参加を義務づけている。また、研修会を実施することで、クラブ員の保護者への理解も高まると考える。仕事等で研修会に参加できない場合などどのようにするのか？など課題である。協議会でも指導者研修会の内容を報告し一定の理解を得られた。

また、クラブ員へは地域クラブ指導者への苦情窓口など開設し周知している。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

学校と連携して進めて行くため  
中学校校長会などで、制度説明  
などを行った。

活動拠点を1校としたため、拠  
点校とは度々にわたる調整を  
行った。

##### 取組の成果

学校の協力を得ることで、指導者登録バンクの案内（教員向け）・クラブ員登録案内（生徒向け）のチラシや、WEB媒体を活用した情報発信ができた。また、直接学校へ出向き、職員会議の場を活用し制度説明などできた。

しかし、情報を発信すればするほど、試合参加や責任の所在地などの課題も多くでてきた。特に学校施設を使用するため、鍵の問題が一番大きく、また、部活動に支障のない範囲での使用となり、地域クラブの活動日の変更も多くあった。

##### バス等の運行実績

スクールバス等の使用なし

##### バス等の運航経費・収入

なし

##### 今後の課題と対応方針

学校施設利用にも限度があり、種目が今後増えるにつれ、社会体育施設等の利用も必要になってくると考える。活動場所の選定にも交通アクセスを考慮する必要があるため、検討が必要になる。

また、現在は保護者の送迎を基本としているが、送迎ができない場合の対応を検討していく必要があり、協議会でも議題になっている。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

協議会で、検討を重ね、実施場所について決定した。

市内4カ所の中学校で実施するには指導者の関係から不可能であると結論づけ、1カ所の中学校で実施するとした。公共交通機関を利用でき比較的駅から近い場所を選定し、市内全域から参加できるようにした。また、陸上競技では、高校との連携として、活動場所を高校に変更し、高校生と一緒に活動を行うことができた。

##### 各自治体の役割

- 宇陀市教育委員会
- ・地域クラブの運営母体
- ・関係機関と連絡調整
- ・広報活動
- ・予算管理等

##### 移動手段

1校で実施するにあたり、協議会で移動手段について、意見が出たが、保護者等による送迎とした。  
今後送迎について、協議検討する必要がある。

##### 事務局運営の方法

宇陀市教育委員会事務局を運営母体とし、事務予算管理、クラブ運営を行うため、事務局とした。

##### 取組の成果

1校で実施することにより、他校の生徒との交流が持てた。特に少数で活動している学校では、活動人数が増えることにより、上級生と活動を行うことにより上下関係などが築くこともでき、参加生徒には、良い経験が持てた。また、高校生と一緒に練習を行うことにより、普段経験できない新しい感覚を持った。

##### 今後の課題と対応方針

令和8年度の完全実施に向けて、実施種目を増やしていくが、活動場所の確保、移動手段が大きく課題として残っていく。協議会では、活動場所から離れている方は、中々参加できないという、保護者の意見も出ているので、送迎問題について早期に対応していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●高校との連携 オ：内容の充実①

##### 取組事項

各運営主体（クラブ）において、競技志向にとらわれない、活動を基本としながらも、専門性を伸ばしたいクラブ員には個別に対応するなど工夫を行った。

地域クラブ（宇陀クラブ）では、競技志向にならないよう、気軽に参加できるクラブを目指している。

また、高校との連携を一層強化し、多種目で活動できるよう取り組んでいく方向である。

##### 活動の詳細

#### 宇陀クラブ（陸上競技）高校との連携

登録人数：13名（体験2名）合計15名

活動場所：11月～12月（中学校グラウンド）榛原駅から徒歩約15分

1月～現在（近隣高校グラウンド）榛原駅から徒歩約15分

指導者：5名（地域クラブ）

実施内容：高校部活動と地域クラブ活動を同じ場所で開催

高校生と交流を図ることを目的に活動を行う（毎回高校顧問と地域クラブ指導者が練習内容について打合せを行い、合同で活動できるポイントの調整を行う）

クラブ員：中々行くことのない高校で活動ができ、新しい経験ができた

高校生と交流ができ、将来に向けて役に立った施設が、中学校と違う普段の部活動で教えてもらうことができないことを教わった などの意見がある

指導者：施設が充実しており、雨天時でも十分対応できる。

高校生と一緒に活動することで、子どもたちが楽しく活動している

高校顧問と専門的な指導方法について相談できる

少子化で定員割れしている中で、クラブ員へ高校の良さをアピールできる

協議会：高校顧問の方もおられるので、緊急時の対応や見守りの人数が増えて安心感が増す  
専門指導が充実、施設面でも充実 高校との連携をもっと欲しい など

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

#### 取組事項

地域クラブの運営に当たっては、持続可能な仕組みづくりを行う必要があることから、実証事業中に収支構造の可視化を行い、適正な受益者負担額を定めていく予定。実証事業に要した経費より算出し協議会等で検討する

#### 地域クラブに係る経費

##### ■ランニングコストの分析

6年度の実証事業では、一番支出額が大きいのが、指導者の謝金であるが、今後、選任の事務職員を配置することにより人件費が大きな負担となる。また、種目数が増えることにより消耗品などの支出も増えることが考えられる。

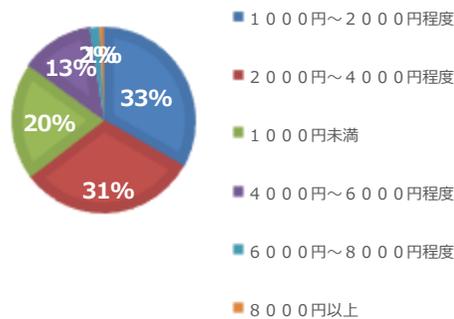
また、種目によっては経費の掛かり具合もバラつきがあるため、調整が必要である。

6年度の主な経費内訳

指導者謝礼等：372千円 消耗品：280千円 保険料：48千円

#### 受益者負担アンケート結果（中学生保護者）

##### 地域クラブの月額



保護者向けのアンケート調査では、月額2000円程度が一番多い結果となっている

#### 収支バランス

6年度は実証事業として、補助金の活用しながら市単費と併せて活動費としてきた。施設利用料・事務職員人件費などは、活動費とはべつに市単費で負担しているため、数字には表れないため費用は算出できないが、令和7年度に専属職員の雇用を予定している。予算額は約260万となっており、高額である。今後、クラブを運営するためには、相当の受益者負担を求めることになる可能性があるため、どれだけ市単費分を見込めるかで受益者負担額は大きく変わる。市補助金なしでは、とても運営が見込めないと考える。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

今後、保護者等に受益者負担を求めることから、積極的に学校施設を利用して行くことを基本に調整を行った。

高校等の連携として、近隣高校の施設の借用もおこなった。

##### 取組の成果

運営母体が学校長との調整を行い、活動日（借用日）の調整を行った。

活動日の設定には、学校行事や校外での大会等の日程も加味して行った。

実証事業では、活動日全て学校施設を借用することができた。

近隣の高等学校の施設を借用することができた。



##### 今後の課題と対応方針

学校部活動との兼ね合いもあり、活動を希望する日程全てを借用することが困難であった。

また、鍵の借用、施設の管理面での課題もあり、今後さらなる調整が必要である。地域の指導者（部外者）が学校敷地内で活動することに

難色を示す教員もおられた。

学校施設を借用する場合は、教育委員会事務局が必ず申請等の事務を行う必要がある

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

今回の実証事業を受けて、感じられたことは、教員の地域移行に対する理解度が低く、誤った認識で見られる方も見られた。また、広報活動を行ったが、保護者の関心も低調となった。

指導者登録バンクを開設したが、当初は思うように人材が集まらず、実施種目が限定的になった。

実証事業という事で、課題を整理するために年度途中から始めたが、教員及び保護者からは、試合参加についての問い合わせが非常に多かった。

当市では、送迎の問題も非常に重く感じている。

費用面では、指導者からのオーダーもあり、活動費が今後増えることが予想されるため、市単費でどれだけ賄えるのか、など課題である。

参加した子どもたちは、今までと違う環境での活動となったが、専門的な知識を有する方の指導であるので、有意義な活動となっている。今回は現1、2年生に限定してクラブ員を募集したが、指導者名簿を見て、3年生からの参加希望も見られた。

文化系の種目についての活動場所が課題である

#### ●成果の評価

当初は予定したよりクラブ員は大幅に少なかったが、徐々に浸透していき徐々にクラブ員も増えてきた。

指導者登録も徐々に増えており、来年度は種目数を増やすことが可能であると考えられる。

各種目10回程度の活動ができた。

行政主導型でクラブ運営を行ったが、概ね活動路線はできたと考え

#### ●今後に向けて

実証事業で出てきた課題を1つずつ解決していき、実施種目の増を行います。ただし、送迎問題など費用が発生するものについては、解決まで時間を要す可能性がある。

啓発活動を中心に行い、多くの市民に地域移行を知っていただき、指導者の確保を行います。

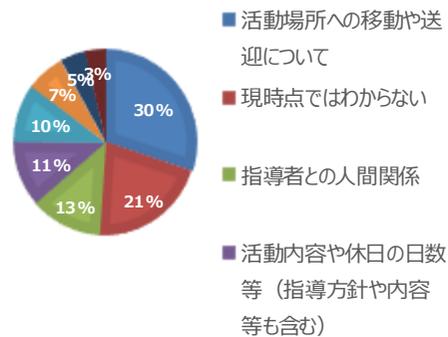
また、同時に試合参加に向けて中体連の動向なども注視していき、8年度より大会参加できるよう、調整を行う。

令和7年秋までには、完全実施に向け体制の整備を行う予定です。

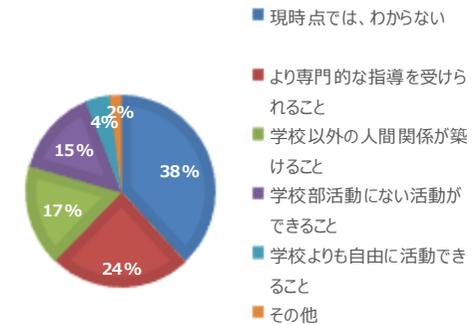
## 2.実証内容と成果②

### アンケート結果（保護者向け）

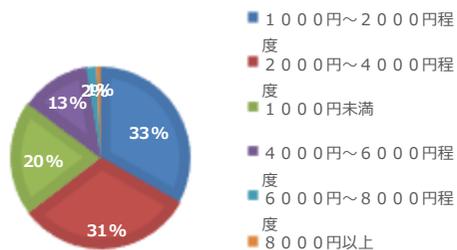
Q休日の中学校部活動が地域クラブ活動に移行した場合、最も不安に思うことは何ですか？



休日の中学校部活動が地域クラブ活動に移行した場合、最も期待することは何ですか？



休日の地域クラブ活動にかかる費用は、月額、どれくらいの金額が適当だと考えますか？



Q中学校部活動の地域移行について、どの程度ご存知ですか？



## 広報資料

### 指導者登録人材バンク

### クラブ員募集チラシ

令和6年度 実証事業

## 宇陀市地域クラブ活動指導者登録者募集

宇陀市地域クラブ活動指導者登録とは

宇陀市では令和6年11月(予定)から3種目(陸上競技・剣道・卓球)の部活動が実証事業として地域クラブ活動を行います。実証事業を実施するにあたり、指導者やスタッフとして参加できる方にご登録いただくものです。

**募集種目**

軟式野球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、陸上競技、サッカー、テニス、剣道、卓球、ハンドボール、ソフトテニス、吹奏楽、ヒップホップダンス、自転車競技、ウエイトリフティング  
令和6年11月(予定)から、**陸上競技・剣道・卓球**の3種目の実証事業を行います。

**ご登録方法**

\*LOGOフォームのご登録  
https://logoform.jp/form/b95b/663950 にアクセスしていただくか、右のQRコードを読み取ってご登録ください。

\*郵送または持参でのご登録  
「宇陀市地域クラブ活動指導者登録申請書」を下記住所まで郵送または持参してください。

〒633-0292 奈良県宇陀市榛原下井足 17-3  
宇陀市教育委員会事務局 生涯学習課  
☎0745-82-3975  
✉b-tiikurabu@city.uda.lg.jp

**宇陀市地域クラブ活動指導者登録の流れ**

STEP1	STEP2	STEP3	STEP4
登録申請 表面のQRコードよりお名前や連絡先等をご登録	マッチング 教育委員会から連絡	委嘱 教育委員会による面接など	指導開始 地域クラブで指導・サポートのスタート

**中学校部活動と地域クラブ活動の違い**

区分	学校部活動 ※学校教育内の活動	休日の地域クラブ活動 ※学校教育外の活動
運営管理	学校	地域クラブ
指導者	教員・部活動指導員	※実証事業では、教育委員会が選定した地域クラブに所属する指導者 ※地域クラブ活動へ参加を希望する教員も含む
活動場所	原則学校で実施	学校や公民施設
報酬	特殊業務手当	1時間 1,600円 ※教員が、指導する場合は 1時間 1,000円

**宇陀市地域クラブ活動指導者登録Q&A**

Q. 指導者の資格を持っていないと登録できませんか？  
A. 原則として指導(実技指導)が可能となりますが、指導歴がない場合等はお問い合わせください。また、その他の要件(看護資格・栄養士等)をお持ちの方はお問い合わせください。

Q. 登録する際にはどのような内容を記入するのですか？  
A. 登録には、名前、住所、生年月日、指導できる種目、指導可能な時間帯等を入力いただけます。

Q. 登録したらすぐに指導できますか？  
A. 登録したことで指導者としての活動をお約束できるものではありません。

Q. 登録後、依頼があったら必ず引き受けなければならないのですか？  
A. 必ず引き受けなければならないわけではありません。地域クラブの提示する条件等とあわない場合はお問い合わせいただくことも可能です。

Q. 指導者になった場合、報酬は支払われますか？  
A. 1時間1600円の報酬をお支払いいたします。  
※教員が指導する場合は、1時間1000円とします。

Q. 登録するメリットは何ですか？  
A. 自身の経験や知識、技能を地域の子供たちの未来のスポーツや文化芸術活動に繋げることができます。

【令和6年度実証事業】

## 宇陀市地域クラブ員募集

令和6年11月(予定)より、3種目の部活動を実証事業(地域クラブ)を実施します。地域クラブは部活動に所属していない人でも参加できます。地域クラブ員を募集しますので、ぜひご応募ください。

会員登録 QRコード

11月開始予定

- 陸上競技**
  - ① 榛原中学校運動場
  - ② 月2~3回程度
  - 初日は11月16日(土)
  - 午前8時30分~
  - 活動日は、別紙参照
  - (各自でご集合ください)
- 剣道**
  - ① 榛原中学校体育館格技室
  - ② 月2~3回程度
  - 初日は、11月9日(土)
  - 午後1時30分~
  - 活動日は、別紙参照
  - (各自でご集合ください)
- 卓球**
  - ① 榛原中学校体育館格技室
  - ② 月2~3回程度
  - 初日は、11月9日(土)
  - 午後1時30分~
  - 活動日は、別紙参照
  - (各自でご集合ください)

お問い合わせ：宇陀市教育委員会事務局 生涯学習課  
☎0745-82-3975 ✉b-tiikurabu@city.uda.lg.jp

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【陸上競技】



【陸上競技】



【卓球】



【卓球の指導者】



## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### 【ステークホルダー】

学校・スポーツ協会・スポーツ推進委員・文化協会・学校PTA・教育委員会事務局（教育総務課・生涯学習課）市長部局（行政経営課）

#### 【経過】

令和5年度より「宇陀市部活動地域移行推進協議会」を設置し、地域移行について協議を重ねた。令和5年度は3回、令和6年度は6回開催し新たな地域クラブの創設に向けて検討を行った。結果、行政を運営母体とする「仮：宇陀クラブ」として、地域クラブ活動を開始した。協議会では、宇陀クラブの運営方針や、学校部活動を基本としたガイドラインの等の策定を行った。

#### 【実施内容】

令和6年11月より4つの中学校がある中で、交通アクセス等を考慮し1カ所で休日（土曜日）3種目（陸上・剣道・卓球）の地域クラブ活動を行った。月2回の活動を基本とし、令和8年度からの完全実施に向けて課題を洗い出すために試験的に活動を行った。市内全域より参加可能とした。参加対象は現中学1・2年生を対象とし、地域クラブ活動の実施日は、対象種目の部活動を行わないよう依頼を行った。

#### 【実施にあたって出た課題】

活動場所を中学校としたため、活動場所の鍵の問題やクラブ員の個人情報の提供などの問題が生じた。

また、市内全域で4校ある中で活動拠点を1カ所としたため、クラブ員の送迎の問題が大きく、協議会でも、「参加したくても参加できない」などの声が学校PTAの中で上がっているとの意見が多くある。今後の大きな課題である。スクールバス等の活用については、経費が大きくかかるため、財政部局との調整が必要であり、困難な状況である。

地域クラブの事務局を行政に置いているため、協議会（PTA）では安心感がある。と意見を頂いている。しかし、担当者が専属でないため、事務量が大幅に増えている。今後は、専属職員の配置など人事担当課との調整が必要である。

#### 【今後展開】

令和7年9月頃からは、実施種目を増やし活動を行う予定である。

持続可能な地域クラブ運営とするために、引き続き財政部局と調整を行って行く。広報活動についても地域クラブの紹介などを取り入れ、見やすく興味を引くチラシ・HPなどの作成に取り組む。

文化系の種目及び部活動にない種目の実施を予定している。

令和7年度中に「宇陀市部活動地域移行推進計画」を取りまとめ、令和8年度からの完全実施に向けて準備を進めて行く。

# 3.今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和6年度 地域クラブ活動への移行スケジュール

事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
説明会 ヒアリング		対象部活教員個別ヒアリング 指導者向けQ&A作成 全教員へ説明 (WEB又はチラシ) 類似団体視察		実施部活の保護者説明 Q&A作成 保護者 (中学生) 向けチラシ配布		実施競技保護者向けスケジュール等のチラシ 中学生向けチラシ 及び登録案内			指導者意見交換会 小5・6向けチラシ 配布		実施種目の保護者・ 生徒へのアンケート 指導者ヒアリング 全職員向けチラシ	
推進協議会		第1回協議会 HP作成 実施競技の決定? HP運用開始		第2回協議会 遅くとも7月中に は実施競技の決定		第3回協議会	中体連に奈良県の 動向確認	第4回協議会 部活動地域移行推 進計画作成 R7年度の方向性		第5回協議会 部活動地域移行推 進計画作成		第6回協議会 部活動地域移行推 進計画作成 実証事業アンケート 報告
実証事業		実証事業の制度設計 (指導者向け) 兼職兼業の制度設計 指導者登録の打診	指導者用ガイドライン作成 仮「宇陀クラブ募集要項」作成	実施種目の スケジュール 指導者確保 宇陀高校打診 指導員人材バンク開設		仮：「宇陀クラブ」登録開始 指導者研修会		実証事業開始 (3種目+宇陀高校?) 部活動地域移行推 進計画作成				

令和7年度 地域クラブ活動への移行スケジュール (案)

事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アンケート		中学校生徒										中学校生徒 中学校保護者 クラブ指導員
説明会	中学校 教職員		保護者		地域クラブ 指導員							
推進協議会	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回		第6回	
実証事業			実証事業の実施予定									
地域移行												

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 奈良県平群町

自治体名：奈良県平群町

担当課名：教育委員会総務課

電話番号：0745-45-2101

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	23.9 km <sup>2</sup>
人口	18,187 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	349 人
部活動数	13 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、当町の運動部活動は、バレーボール、軟式野球部、サッカー、ソフトテニス、ハンドボール、卓球（男子）、卓球（女子）、バスケットボール（男子）、バスケットボール（女子）の9つが活動している。

少子化傾向や入部希望者の減少に伴い、陸上部やソフトテニス（男子）のように廃部となった事例をあり、現在のような部活動の活動状況となっている。

今後の生徒数の推移見込みを見ると団体スポーツについて、長期的な観点でとらえると将来的な存続は難しいものと考えている。

改革推進期間である3年間で、成績や勝敗にこだわらず種目にとられない「身体づくり」を主体とした活動を第一に進め、同時に教職員の働き方改革の推進を、目標とし地域移行を進める。

また、長年にわたって部活動は、学校教育の一環で運営するものという考えが生徒、保護者、地域に根付いている。今後、地域移行に当たり部活動が教育課程外のものであることを関係者が認識することが必要であり、同時に地域移行推進にあたって学校の教職員以外の地域内の指導者の掘り起こし、確保も同時に進めていかなければならない。

資料	中学校 生徒数 推移見込			令和6年5月1日現在											
	実績						見込								
区分	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	
1年生	151	147	125	137	113	116	111	122	126	146	107	142	114	120	
2年生	133	151	152	127	139	116	115	112	122	126	146	107	142	114	
3年生	147	135	155	150	130	139	117	115	112	122	126	146	107	142	
計	431	433	432	414	382	371	343	349	360	394	379	395	363	376	

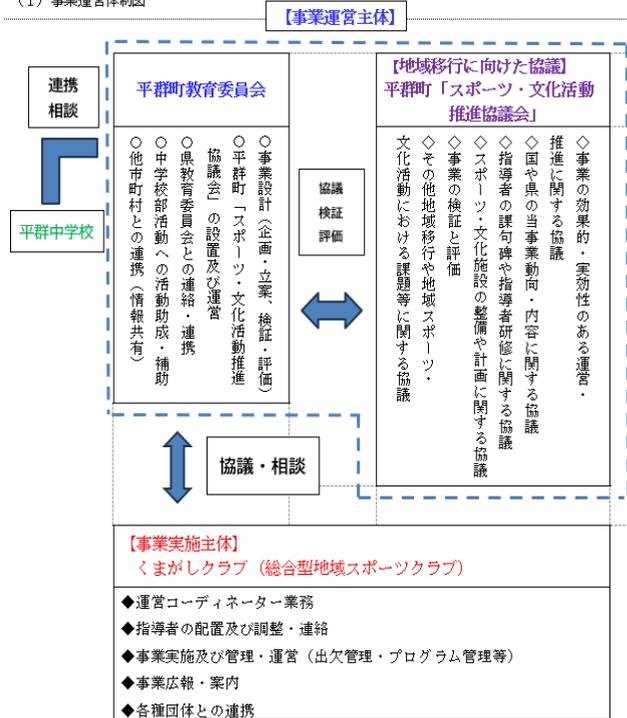
※①H29～R6年度の数値は、各年5月1日現在の学校基本調査の生徒数

# 2.実証内容と成果

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）

(1) 事業運営体制図



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会

- ・学校教育課…部活動改革の主幹、学校との調整・連携、学校に関する事項について
- ・社会教育課…中学生の地域文化活動の環境整備

#### ◎首長部局

- ・財政課…予算措置、ふるさと納税の検討

## 年間の事業スケジュール

- 令和6年4月**
  - ・第1回平群町地域スポーツ・文化活動推進協議会
  - ・地域スポーツクラブ活動体制整備事業におけるダンス教室及び硬式テニス教室の体験会開催
- 令和6年5月**
  - ・地域スポーツクラブ活動体制整備事業におけるダンス教室及び硬式テニス教室開始
- 令和6年10月**
  - ・バスケットボール及び卓球について学校部活動に引き続き地域クラブ活動を試行的に実施
- 令和6年11月**
  - ・第2回平群町地域スポーツ・文化活動推進協議会開催
  - ・町主催スポーツフェスティバルにおいて地域クラブダンスの成果発表
- 令和7年2月**
  - ・活動体制整備事業における年間分の全教室の終了
  - ・第3回平群町地域スポーツ・文化活動推進協議会開催

### 運営体制・役割

#### 平群町スポーツ・文化活動推進協議会組織について

##### <組織構成団体>

- ◎ 町スポーツ協会   ◎ 町文化協会   ◎ 町スポーツ推進委員会   ◎ くまがしクラブ（総合型地域スポーツクラブ）
- ◎ 町地域振興センター   ◎ 有識者   ◎ 平群中学校（学校代表者・育友会代表者）

※ 各団体から代表者1名及び2名の参加し、各役職を担当する。

##### 「協議会規約」より

##### 第3章 役員

（種別及び定数）

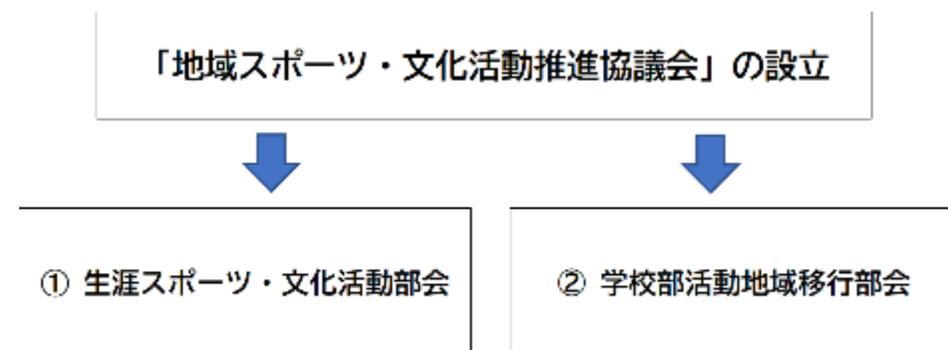
第7条 本会に次の役員を置く。

- （1）会長 1名      （2）副会長 3名      （3）運営コーディネーター 1名
- （4）運営委員 若干名      （5）監事 1名      （6）顧問 1名

（事務局）

第8条 運営コーディネーター及び平群町教育委員会職員（運営委員）等が担当する。

##### <運営体制図（平群町における推進協議会体制図）>



## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	1校	実施した地域クラブ総数	4クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2クラブ（バスケットボール、卓球）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		2クラブ
全体の指導者数	4人	全体の運営スタッフ数	2人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
ストリートダンス教室	地域スポーツ・文化活動推進協議会	ストリートダンス	全24回	9:30～10:30	小学4年～高校1年	5月～2月	町文化センター棟	1人	1人 (内、兼務1人)	550円/回	中体連：部活動 その他：地域クラブ
硬式テニス教室	地域スポーツ・文化活動推進協議会	硬式テニス	全24回	13:00～14:30	中学1年～中学2年	5月～2月	町中央公園テニスコート	1人	1人 (内、兼務1人)	550円/回	中体連：部活動 その他：地域クラブ
バスケットボール部・卓球部	地域スポーツ・文化活動推進協議会	卓球・バスケットボール	全12回 (バスケ) 全9回 (卓球)	17:00～18:00	中学1年～中学2年	10月～2月	総合スポーツセンター	各1人	—	該当なし (部費のみ)	中体連：部活動

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

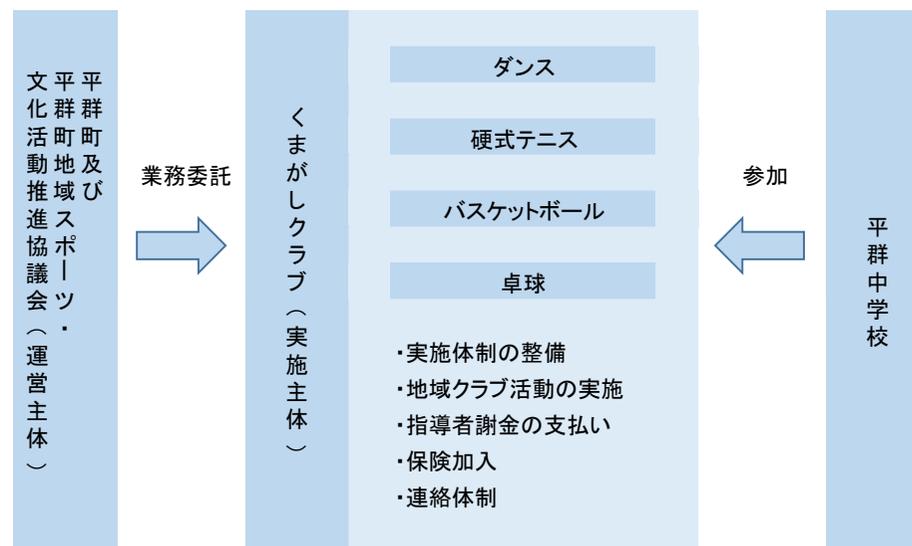
- ストリートダンス教室と硬式テニス教室については初めての生徒にも参加しやすいように4月に体験会を開催した。
- 平群町スポーツフェスティバル（R6.11.17開催）においてストリートダンス教室の参加者による発表の枠を設けダンスを披露した。

## 主な取組例

### ● 平群町地域スポーツ・文化活動推進協議会 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ストリートダンス、硬式テニス バスケットボール、卓球
運営団体名	平群町地域スポーツ・文化活動 推進協議会
期間と日数	ダンス：5月12日～2月2日 月2回程度 硬式テニス：5月11日～2月22日 月2回程度 バスケット：10月18日～2月28日 全12回 卓球：10月23日～2月12日 全9回
指導者の主な属性	協会公認コーチ、部活動指導員 等
活動場所	平群町総合文化センター 平群町総合スポーツセンター 平群町中央公園テニスコート
主な移動手段	徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	ダンス、硬式テニス：550円 バスケット、卓球：無し
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者
  - 役割：活動における管理者として、保護者との連絡を行う
- 主任指導者 4名
  - 役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う
- 運営補助者 2名
  - 役割：活動における主任指導者の補助として、指導を行う

## 2.実証内容と成果

**ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備**

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

1. 平群町地域スポーツ・文化活動推進協議会の開催について

- ① 第1回協議会（R6.4.26）R5年度実証事業報告、R6年度計画について説明、各種意見交換及び協議
- ② 第2回目協議会（R6.11.19）R6年度事業の経過報告、地域交通を活用した実証運行事業について
- ③ 第3回協議会（R7.2.25）R6年度実証事業報告、R7年度計画について説明、各種意見交換及び協議

##### 取組の成果

平群町地域スポーツ・文化活動推進協議会の果たすべき役割について

部活動の地域移行が円滑に進むためには、教員の理解が何より先決であると考え以前実施した教員への説明会や回答アンケート結果については当協議会においてその意識の共有を図った。生徒にとって、自身が選んだ活動に対し、夢中で取り組めることは何においてもかけがえのないことであり、R6年度については前年に引き続き町及び当協議会が運営しているダンス教室と硬式テニス教室の継続実施の開催。

また、地域交通（路線バス）を活用し中学校部活動を町総合スポーツセンターにおいて地域クラブ活動に引き継いだ活動を行い、既存の学校部活動の枠に収まらない活動場所や指導体制の構築を試行的に行い運動の地域クラブ活動の一層の推進を図った。

##### 今後の課題と対応方針

○これらの取組を支える家族・保護者にとって、学校部活動及び地域クラブ活動に対し期するものは、とても大きなものがあると言える。

今、新たな方向性としての「地域への移行」という取組が、生徒や保護者に対し、その狙いとすることや目的、その理由が、正しく伝えられ、理解されること、また、その伝道役として「教員」に課せられる役割は大変大きく常に生徒のみに限らず保護者や教員のニーズを丁寧に把握していくことが重要であると考え。

○次年度は、生徒及び保護者に対する説明会やアンケートの実施に取り組む予定である。

- ・説明会を中学校や小学校単位で行う。
- ・休日部活動を地域移行化に向けて兼業兼職の制度の周知と運用や指導者及び指導謝金等財源の確保に努め順次取り組んでいく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 **イ：指導者の質の保障・量の確保** / **ウ：関係団体・分野との連携強化**

##### 取組事項（イ）

- 町内スポーツ団体及び文化協会等の団体に要請し、引き続き指導者の確保のための情報収集に努めた。
- 県内及び近隣府県の大学に働きかけ、地域指導者やアシスタント等、本事業に理解・協力を得られる人的確保に取り組みないか検討を行った。

##### 取組の成果・今後の課題と対応方針（イ）

- 実際、本町内のみで指導者の確保は極めて困難な状況であった。今後は県の人材バンクの本格活用等の必要性がある。

##### 取組事項（ウ）

- 令和8年度以降の学校部活動の地域移行化を目指す中で、県からの具体的な財政補助方法が明確化した際に、地元農業振興協会や商工会、金融機関等への働きかけの必要性を検討する。

##### 取組の成果・今後課題と対応方針（ウ）

- 令和8年度以降の地域クラブ活動における必要財源が具体的に算定しきれない状況であり、地域の関係団体等への本格的な働きかけにまでは至っていないところが課題である。今後いかに町内中学生のクラブ活動の意義や周知を経て協力体制を築いていけるか模索していかなければならない。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

##### ○地域クラブ活動

- ア.ダンス（R6.4月～R7.2月まで） 合計24回 於：平群町総合文化センター（研修室）他 参加生徒 中学生7名  
イ.硬式テニス（R6.4月～R7.2月まで） 合計24回 於：平群中央公園テニスコート 参加生徒 中学生4名  
ウ.バスケットボール（R6.10月～R7.2月まで） 合計12回 於：平群町総合文化センターアリーナ 参加生徒25名  
エ.卓球（R6.10月～R7.2月まで） 合計9回 於：平群町総合文化センターアリーナ 参加生徒21名

※ア. イ. の参加費はいずれも1回550円

##### 取組の成果

- 参加生徒の、とても意欲的な態度、姿勢。
- 活動中の笑顔溢れる表情や真剣な眼差し。
- 充実感、満足感、自己有用感が高まっている。
- 保護者の心にも喜びがひろがっている。
- 地域クラブ活動は、学校の部活動と、「**変わらない成果が得られる取組である**」ことが確認できる。
- 参加者からは、今後も継続取組の希望が強い。
- 参加募集（ダンス・テニス）の広報を2回行った。
  - ・ 1回目は体験会の事業開始1か月前中学生全校配布 →ダンスに2名の希望のみ。
  - ・ 2回目は5月から始まる教室への募集を事業開始前に、同じく全校配布。
  - ・ 町ホームページや実施主体であるくまがしクラブにも広報をお願いし、募集活動を行った。
  - ・ 上記2種目の指導者については昨年に引き続き地域総合型スポーツクラブ契約の指導者に依頼し、快く受けていただいた。
- バスケットボールと卓球については、共創モデル実証運行事業として、平群中学校から平群町総合スポーツセンターまで奈良交通グループによるバス輸送を行い、放課後から17時までを学校部活動、17時から18時までを地域クラブ活動として事業実施を行った。
- 指導者としては部活動指導員を活用した取り組みであり、今後教員の働き方改革を見据えた活動である。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和6年2月13日奈良県教育委員会委員長通知にある「令和8年度以降の中学校部活動の在り方について」に基づき県内においては「令和8年度から休日における教員の指導による学校部活動を廃止する。」との方向性が示された。

令和8年度以降の中学校部活動の休日の在り方について

- ①土日祝日の学校部活動を地域クラブへ移行し活動する
- ②学校部活動は平日のみとし、土日祝日の活動は行わない。
- ③部活動指導員の指導により土日祝日の活動を行う。

上記①～③の場合、公式戦やコンクール等への参加体制について

- ①地域クラブ活動の指導者が引率し、「地域クラブ」として引率する。
- ②週休日の振り替えを行った上で教員が引率し、「学校部活動」として参加する。
- ③部活動指導員が引率し、「学校部活動」として参加する。

こうした方針や取り扱いが示された中で、当町としての目指すべき部活動を取り巻く今後の環境整備としては、

- 子どもたちにとって、本当に必要なスポーツや文化活動の環境を整備すること
  - 「やりたいことができる」環境づくり
- 教員の働き方改革の推進に努めること
  - 学校の部活動の地域移行が優先課題

しかしながら実現させるには、先行きが相当不透明な点が多く残った。

- ◆教員の休日を確保すること。
- ◆任せられる指導者を確保すること。
- ◆財源（指導者謝金、経済的困窮家庭支援、補助金）を確保すること。

#### ●成果の評価

この事業における、先行きの不透明さとは、「財源の確保」への課題である。

★国や県が進言する「受益者負担」や「企業・地元商工会等からの寄付や助成」について

- 地元には大手企業がない地域の課題克服策は？
- 地元商工会からの、クラブ活動資金助成を持続可能なものとするための方法とは？
- 地元商工会に、本町内に限らず、他市町村の子どもたちへの助成理解に努める方法とは？
- ☆ 「すばらしい体験の機会を、どの子にも味わわせる」ための整備をどのようにしていけばいいのか・・・

そうした課題を抱えつつも、今年度の当町の基本的な取り組みとしては、昨年度に引き続き、現在の中学校にない、先述の県の方向性①に当たる地域クラブへの移行モデルに近い「ダンス」と「硬式テニス」を軸に実施した。

また、学校で行われている部活動について、③の部活動指導員を活用した「バスケットボール」と「卓球」のクラブ活動についても、地域交通バスを組み合わせた新しい取り組みとして実施することができた。

いずれもこれまで地域の中で学校や教員に頼った活動形態でなく、学校以外の地域や指導者によるクラブ活動により行われることへの試行的な取り組みとしては、地域のなかでも一定の認知が図られ成果があったと考える。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●今後に向けて

##### 【R7年度以降の「地域クラブ活動」の方向性について】

上記の総括で示した、R6.2.7奈良県教育委員会報道及び同年2.13通知「令和8年度以降の中学校部活動の在り方について」において、「教員の指導による学校部活動を廃止する」の方向性が示されたことを受け、本町として今後以下の計画を考えている。

- ① R6年度「地域クラブ活動（国費：実証事業）計画【前年からの継続プログラム】  
〈実施内容プラン・日時等〉
  - ア. R6年度事業参加生徒の継続プログラム
    - 教室型（合計24回）で実施
      - ・ ダンス：年間30回 × 2クラス（5月～翌2月）11月に町イベントにおいて発表会等において成果披露
      - ・ 硬式テニス：年間12回（5月～翌2月）
    - イ. R7年度 新規体験会の実施（無料体験会：2回のみ）
      - R7年4月実施予定（上記ア.のダンスと硬式テニスの2種目）
    - ウ. R7年度以降の当活動は平群町スポーツ・文化活動推進協議会における、
      - ・ 部活動指導員を活用した運動部活動から地域クラブ活動への地域連携化の取り組み
      - バスケットボール（10月以降で約40回）、卓球（10月以降で約40回）
  - ② R8年度以降の休日指導に関する、指導者謝金、交通費、活動に係る活動費、及び受益者負担への助成等の補助金の見通しが明確に示された段階で、町予算の範囲（限度額等）を試算し、中学校との相談・協議のもと、学校部活動の地域移行化を具現化する。
  - ③ その他の取組として以下のガイドライン等を策定する
    - ・ 平群町「地域クラブ活動」推進に係るガイドライン
    - ・ 指導者者謝金単価及び交通費等
    - ・ 経済的困窮家庭への助成基準（補助金の交付等）

## アンケート結果・広報資料

### 平群町地域クラブ活動体験会 募集チラシ

**令和6年度 平群町地域クラブ活動体験会**

対象：平群町在住の  
新中学1年～新中学3年生

1回でも参加OK!  
“やりたい種目”を“やりたい日”に!!

参加費無料

**ストリートダンス教室体験会**

音楽に合わせてリズムを取りながらダンスの基礎を学びます。  
初心者も大歓迎!

【日時】 4/14(日)9:30～10:30  
4/21(日)9:30～10:30

【会場】 総合文化センター研修室1A9 (2階)

【定員】 10名

**硬式テニス教室体験会**

写し、ラリー、ゲームなど初心者も楽しく参加できます。

【日時】 4/13(土)13:00～14:30  
4/20(土)13:00～14:30

【会場】 平群中央公園テニスコート

【定員】 8名

【申込先・申込方法】  
主催者：平群町地域スポーツ文化活動推進協議会  
事務局：平群町教育委員会  
TEL:0745-45-2101【平日8:30～17:15(土日祝除く)】  
申込方法：直接持参、郵送、右のQRコードから直接入力

QRコードからのweb申込みはこちら

募集チラシ 表

**平群町地域クラブ活動 体験会 申込用紙**

平群町の各中学校で実施している本校へ参加したい児童・生徒は、希望するクラブ活動の体験会に参加してください。  
※本校の各中学校で実施している本校へ参加したい児童・生徒は、希望するクラブ活動の体験会に参加してください。  
【申込期限は体験会の実施まで】を申し込み期限としてください。

参加者種別	(本校)の参加希望する日曜を本校へ参加したい児童・生徒は、希望するクラブ活動の体験会に参加してください。 硬式テニス 【① 4/13(土)・② 4/20(土)】 平群中央 4/27(土) 1 ストリートダンス 【① 4/14(日)・② 4/21(日)】					
地区別スポーツの参加希望	あり / なし					
参加者氏名	フリガナ	生年月日	性別	年	月	日
住所	〒					
学校名・学年・クラス名	平群中学校 - その他					
メールアドレス						
保護者氏名						
緊急連絡先 (本人以外の親りも可)	自宅	---	---	---	---	
	携帯電話	---	---	---	---	

**平群町地域クラブ活動とは？**

——— 中学校部活動のあり方について改善を進めることが求められています！ ———

2023年4月から文部科学省(スポーツ庁)での「学校部活動の環境整備・地域クラブ活動」の取り組みがスタートしました。教員の働き方改革や少子化が進むなか、子ども達のニーズも多様化しています。  
将来的に子ども達のスポーツや文化活動が継続できるよう、県在全国ではさまざまな地域クラブ活動の取組みがスタートしています。そこで私たち平群町でも中学生の皆さんに、様々なスポーツや文化活動に触れ、体験することで、その活動の楽しさや喜び、自身の可能性に気づく機会となることを願って企画しています。  
平群町では令和5年度に引き続き、令和6年度もまずは「硬式テニス教室」「ストリートダンス教室」の体験会を開催します。テニスやダンスははじめて、という人も、少しやったことがある、という人もまずは活動指導者の先生と一緒に体験してみませんか？みなさんのご参加をお待ちしています。

参加をお待ちしています!

【お問い合わせ先】  
主催者：平群町地域スポーツ文化活動推進協議会  
事務局：平群町教育委員会(担当：兼門)  
TEL:0745-45-2101 / FAX:0745-45-7799 平日 8:30～17:15 (土日祝は対応してありません)

募集チラシ 裏

## アンケート結果・広報資料

### 平群町地域クラブ活動 募集チラシ

**令和6年度 平群町地域クラブ活動**  
対象：平群町在住の  
新中学1年～新中学3年生

**土日のクラブ活動！  
新たな種目にチャレンジしよう！**

**お試し  
初回受講  
無料**

#### ストリートダンス教室

音楽に合わせてリズムをとりながらダンスの基礎を学びます。  
初心者も大歓迎！

【日時】 (月) 9:30～10:30 当日は計4回実施  
【場所】 総合文化センター研修室  
または総合スポーツセンター会議室

【定員】 10名  
【月会費】 1,580円

#### 硬式テニス教室

練習し、ラリーゲームなど初心者も楽しく参加できます。  
【日時】 (土) 13:00～14:30 当日は計4回実施  
※7月、8月、9月のみ 8:00～9:00  
※雨天中止

【場所】 平群中央公園テニスコート  
【定員】 8名  
【月会費】 1,580円

※この募集チラシに掲載の募集が変更される場合があります。変更が必要な場合は別途告知をさせていただきます。変更がない場合は掲載の募集要項となります。

【申込み・申込方法】  
主催者：平群町地域スポーツ文化活動推進協議会  
事務局：平群町教育委員会（担当：坂口、滝井）  
TEL.0745-45-2101（平日8:30～17:00）※お休みの日  
申込方法：直接持参、郵送、右記のQRコードから直観入力

QRコードからのweb申込はこちら

募集チラシ 表

硬式テニス(全24回)	ストリートダンス(全24回)
講師：日本スポーツ協会公認指導者 西口ユウキ、中村コウ 兼	講師：日本スポーツ協会公認指導者 Chika先生 兼
場所：平群中央公園テニスコート (田中央ビル)	場所：平群総合文化センター研修室または 平群町総合スポーツセンター会議室
日時：(土)13:00～14:30 ※7月、8月、9月のみ 8:00～9:00	日時：(月)9:30～10:30 ※はスポーツセンターにて開催
5/11 8/21 10/5 5/25 8/17 10/20 6/1 8/24 11/2 6/15 8/31 11/9 6/22 9/7 11/16 7/13 9/14 11/30 7/27 9/21 12/7 9/28 12/14 12/21	5/12 8/4 11/10 5/26 8/18 11/17 6/2 8/25 12/1 6/9 9/8 12/8 6/16 8/15 12/15 兼 7/7 10/20 兼 12/22 7/14 10/27 兼 1/12 7/21 1/19 1/26

**平群町地域クラブ活動 体験会 申込用紙**

※申込は4月15日(木)までに必ずお申し込みください。お申し込みいただいた方には、体験会の参加券をお送りいたします。体験券は当日持参してください。体験券の有効期限は4月15日(木)までです。体験券の有効期限は4月15日(木)までです。

申込者氏名	氏名(姓・名・姓) (※お父様かお母様の姓で記入してください)			
申込者氏名	〒	市町村	番	号
住所	〒			
学校名・学年・クラス名	平群中学校・3年	組	組	組
メールアドレス				
保護者氏名				
緊急連絡先(本人以外の方の連絡先を記入してください)	自宅	---	---	
	携帯電話	---	---	携帯

【お問合わせ先】  
主催者：平群町地域スポーツ文化活動推進協議会  
事務局：平群町教育委員会（担当：坂口、滝井）  
TEL.0745-45-2101 FAX.0745-45-7799 平日 8:30～17:00（土日祝日は対応しておりません）

募集チラシ 裏

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【ダンス① 練習風景】



【ダンス② 地域イベント発表】



【テニス① 練習風景】



【テニス② 練習風景】

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【バスケットボール① 移動時風景】



【バスケットボール② 練習風景】



【卓球① 練習風景】



【卓球② 練習風景】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ステークホルダー

学校、スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、競技団体、施設指定管理者、町長部局、町教委、総括コーディネーター、コーディネーター

#### 経過

令和5年度より地域スポーツ・文化活動推進協議会を設置し、実証事業の運営団体として取り組みを行ってきた。また、事業の実施主体として総合型地域スポーツクラブであるくまがしクラブに委託を行い、令和7年まで新たな地域クラブ活動を推進していくことを確認してきた。令和6年度においても前年に続き、運営団体としてスポーツ協会やコーディネーター、行政等で組織する同協議会を開催し、今後の地域クラブ活動のあり方などに関して議論や情報共有を行ってきた。

#### 実施内容

町内1中学校生徒を対象として、硬式テニスとダンスの教室を4月は体験会、5月以降は教室として休日において、それぞれ年間24回、地域クラブ活動への参加を促す試行的な取組を開始した。また、10月からは地域交通を活用して、中学校から町内総合スポーツセンターに生徒を運搬し学校部活動後の17時以降は指導員を配置し地域クラブ活動として実施してきた。

#### 実施にあたって生じた課題

本町の特徴として、学校部活動に入部率が約80%と元から高く、学校部活動以外の活動にまで、加えて参加しようとする生徒が少ないことが挙げられる。

また、種目によっては部活動指導員のいる部活動については、試行的に地域クラブ活動を行うことができるが、新たな外部指導員によるスムーズなクラブ活動が可能であるかは未知数である。このことは、新たな指導者と財源の確保と共に課題となっている。

#### 今後の展開

令和7年度については、これまで従来の実証事業に参加の生徒の活動の場の確保を行う必要もあることから、これまで同様の地域クラブ活動を行い新たな参加者を募り活動を行っていく予定である。中学校において、休日の地域クラブ活動を実施が可能か見極め、会費負担の必要性なども踏まえた保護者等への説明についても行っていく予定である。地域クラブの紹介動画やパンフレットを作成し、地域クラブ活動に対する理解を深めていきたい。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	目指す姿
県	実証事業、進捗管理	人材バンクの立ち上げ及び運用			<ul style="list-style-type: none"> <li>● な 層 ● 子   ●</li> <li>学 実 推 学 ど ツ こ</li> <li>校 施 進 校 も ・ れ</li> <li>の し 部 の 文 か</li> <li>働 、 活 動 活 化 ら</li> <li>き 地 動 動 芸 の</li> <li>方 域 を の 術 少</li> <li>改 に 地 選 活 子</li> <li>革 あ 域 択 動 化</li> <li>を つ ・ 肢 が の</li> <li>推 た 民 を で な</li> <li>進 ク 間 地 き か</li> <li>ラ に 域 る で</li> <li>ブ お で 環 も</li> <li>活 け 提 境 持</li> <li>動 る 供 を 続</li> <li>の 展 整 的</li> <li>継 開 備 に</li> <li>続 を し ス</li> <li>的 一 、 ポ</li> </ul>
町	町地域スポーツ・文化活動推進協議会の立ち上げ及び会議の実施 実証事業の実施及び進捗管理 教員への今後の方針説明、アンケート実施		休日部活動の地域移行を目指す 地域移行問い合わせ対応	地域人材の発掘	
学校	町地域スポーツ・文化活動推進協議会への参画 教員説明会の実施 地域クラブ活動の周知と案内		教員への兼業兼職の希望把握 地域クラブ活動の周知と案内	学校開放にあたり環境整備 段階的に休日部活動の廃止及び地域移行化の実施	
くまがた （実証主事クラブ）	町地域スポーツ・文化活動推進協議会への参画及び運営コーディネータ業務 実証事業の実施及び進捗管理 指導者の確保		指導者の確保	指導者の確保	

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 奈良県生駒郡安堵町

自治体名：奈良県生駒郡安堵町

担当課名：教育推進課

電話番号：0743-57-2033

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	4.31 km <sup>2</sup>
人口	6,990 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	117 人
部活動数	4 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

(令和6年10月1日現在)

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

### 【現状】

生徒数減少に伴い、中学校における部活動数も減少傾向にある。

現在、当町の公立中学校は1校、その中で運動部活動は4部あり、(男子バドミントン部、女子バドミントン部、サッカー部、バスケット部)総部員数は62名である。各部とも平日および休日問わず活動しており、サッカー部については近隣の平群町と合同で実施している。

### 【課題】

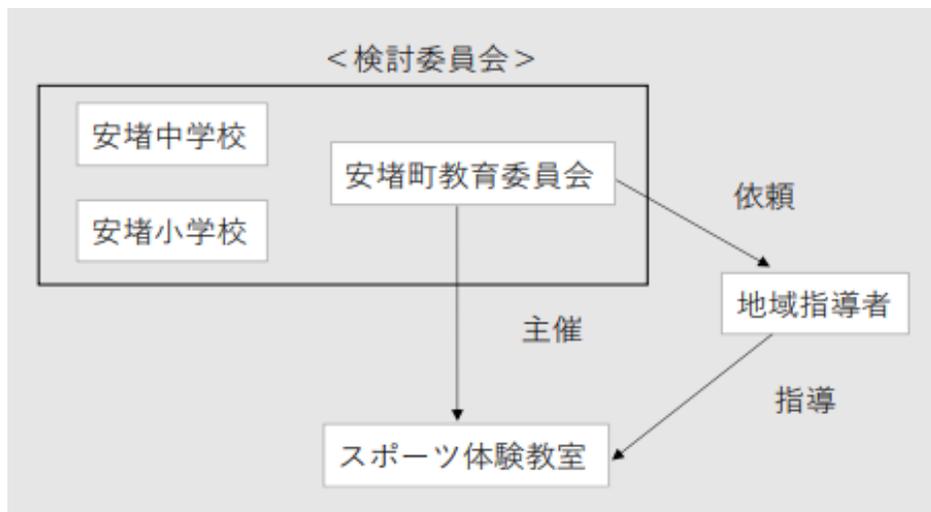
令和6年度中学校教職員を対象に実施したアンケート結果より、平日と土日の部活動において異なる指導者が指導することは生徒や保護者の混乱を招くという声が最多であったことから、指導者間の連絡調整が課題である。

また、部活動を教育課程外のものであるという認識や従来以上の受益者負担を求めるなど、関係者および保護者の理解促進も難航している。対象の学校が1校という当町においては長期的に部活動地域移行を単独で継続させることが困難な点も今後検討する必要がある。

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

検討委員会開催・広報周知・参加者手続き・指導者との日程調整 等

##### ◎首長部局

予算の措置

### 年間の事業スケジュール

令和6年5月	教職員へのアンケート実施
令和6年6月	第1回検討委員会 広報周知・参加者募集 ハンドボール体験教室開催①
令和6年7月	ハンドボール体験教室開催②
令和6年11月	ジュニアランニング体験教室開催 ※教室開催後、参加者へのアンケート実施
令和7年2月	第2回検討委員会

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	1 校	実施した地域クラブ総数	2 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		2 クラブ
全体の指導者数	9 人	全体の運営スタッフ数	1 人（行政職員）

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
ハンドボール教室	地域スポーツクラブ	ハンドボール	年 2 回	午前または午後	17 名	2 日	安堵中央公園体育館	8 人	1 人 (指導者と兼務)	年会費 500 円	—
ジュニアランニング教室	地域スポーツクラブ	陸上	年 1 回	午前または午後	23 名	1 日	安堵中央公園多目的広場	1 人	1 人 (指導者と兼務)	年会費 500 円	—

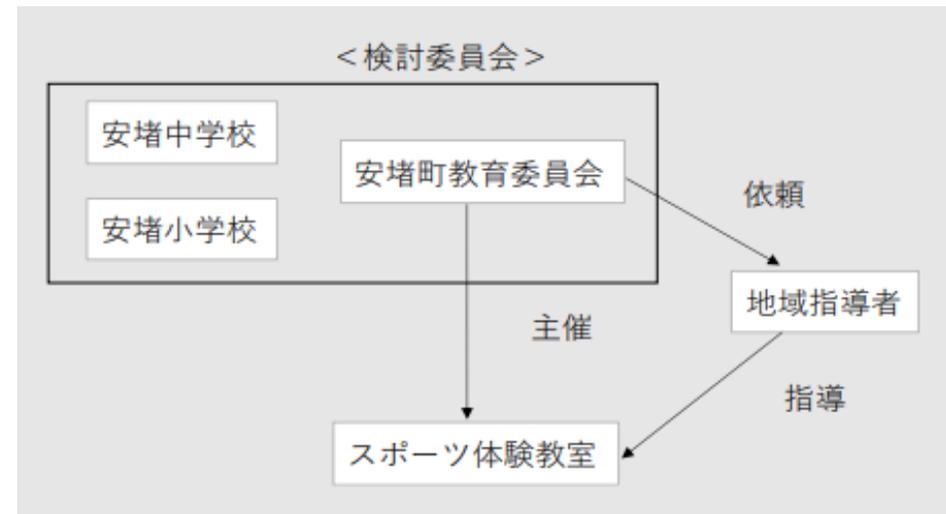
#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

## 主な取組例

### ●ジュニアランニング教室 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ジュニアランニング教室
運営団体名	三碓陸上クラブ
期間と日数	11月17日
指導者の主な属性	地域スポーツクラブ
活動場所	安堵中央公園多目的広場
主な移動手段	徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等(年額)	500円
保険料	レクリエーション保険 782円

### ●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 指導者 1名  
役割：生徒の出欠確認・技術指導 等
- 運営スタッフ 1名(行政職員)  
役割：広報周知・参加者申込手続き・指導者との日程調整 等

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実①

##### 取組事項

・平日に文化部活動に所属する生徒等が休日には運動部活動に参加する、または既に運動部に所属する生徒が他の種目にも参加できような地域スポーツ活動  
 ・大会等の参加を目的としないレクリエーション的な活動

活動の詳細			
参加人数	23人	指導者数	1人
属性	地域スポーツクラブ		
具体的な内容	ジュニアランニング教室		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ストレッチが重要なことがわかった</li> <li>● 足の裏を見せない方が早く走れる</li> <li>● 自宅でのトレーニング方法を学べた</li> </ul>		
運営経費	謝金：6,400円/回 保険料：782円 消耗品費：6,000円		

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

競技大会等を参加の主な目的とせず、平日に文化部で活動する生徒や既に他の運動部に所属している生徒、さらに他市町村の生徒も参加可にするなど、種目・区域を超えて誰もが参加できるレクリエーション的な体験教室を実証事業として実施した。

その結果、文化部所属生徒の参加や他の運動部で活動している生徒の参加も見られた。また、町外の生徒も参加するなど、公立小学校および中学校がそれぞれ1校しかない当町においては同校の生徒と他校区の生徒が関わりをもつことのできる貴重な機会となった。

さらに、地域で活動しているスポーツクラブの指導者を地域移行の指導者として依頼したことで体験教室後、スポーツクラブに加入する生徒が見られたことから、部活動数が少ない当町において、新たな選択肢の提供となった。

#### ●成果の評価

開催後に実施したアンケートから、参加者の約8割が体験教室の内容等に満足しており、今後も継続して参加したいとの回答であった。文化・運動部を問わず、すでに他の部活動に所属している生徒や町外からの参加もみられたことから、種目や区域という枠にとらわれず、レクリエーションを目的とした地域のスポーツ活動に繋がったと考えられる。教員を指導者とする現在の部活動の在り方では、学校が提供する種目と生徒が希望する種目にどうしても乖離があるが、地域のクラブ活動とすることで生徒が希望する種目に参加することができたとの声も聞かれた。

#### ●今後に向けて

上記の点から、同様の体験教室は今後も継続して実施する。

今年度は既存の部活動と同種目の教室を開催することはできなかったが、講師を依頼し教室を開催できるよう引き続き声掛けを行い、次年度は教室の開催種目を増加するよう努める。

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

教室開催にあたり、役場ホームページ等への掲載および学校を経由し、広報周知を実施した。各体験教室に約20名程度の参加があった。

教室開催後には参加者にアンケートを実施した。アンケート結果は下記の通りである。



**ジュニアランニング教室**

令和6年  
**11/17日**  
小・中学生対象

運動の基本『走る』ことを基礎から学びます

- 走ることが習得でき、少しでも飛躍したい!
- 高く、歩っこよく、走れるように走りたい!
- 様々なスポーツに関わる『走り』の楽しさを体験したい!
- 素・速・強さを向上させたい!

ひとつでも、あてはまる方はぜひご参加ください

【日時】 令和6年11月17日(日) 13:00~15:00  
小学1~3年級の部  
小学4~6年級・中学1年の部 15:30~17:30

【場所】 安堵中央公園体育館

【持ち物】 運動できる服装、タオル、飲み物、体操服(シューズ 500円)

【申込方法】 参加費をご持参の上、中央公園体育館の窓口でお申し込みください。

【お問い合わせ】 安堵町教育委員会 電話 0743-58-4011

【生徒への参加啓発チラシ】

出典:安堵町教育委員会

ジュニアランニング教室 アンケート結果

【日時】 令和6年11月17日  
小学生の部 午後1時~午後3時  
中学生の部 午後3時30分~午後5時30分

① 教室は楽しく参加できましたか?

楽しかった	21
楽しなかった	2
どちらともいえない	0

② 教室の時間についてどう感じましたか?

長く感じた	3
短く感じた	4
ちょうどよかった	16

③ 先生の説明はわかりやすかったですか?

わかりやすかった	21
わかりにくかった	1
どちらともいえない	1

④ 特に印象に残ったこと・役に立ったことはありますか?

- ひざを高く曲げるのが役に立った。ストレッチを毎日する。
- 速く走るコツを覚えてもらったので役に立った。
- 高く足を上げる。
- 最初のストレッチが役に立った。
- 足の裏を見せない。
- 手の振り方や走り方細かい所を教わって少し走るのに自信が持てた。
- ストレッチがとても分かりやすかったです。
- つま先を上げて走る事。
- 後ろの人に腕の裏を見せないというところが役に立ちそうです。
- ランナーとしてのトレーニングの基礎を教えたりしてくれて嬉しかった。教えてくれてありがとうございます。楽しかったです。
- 速く走るにはしっかりと足を上げることが心に残った。
- 家でできるトレーニング。
- ひざを肩につける練習。
- 最初のストレッチ。
- 足を早くできることが分かった。
- ストレッチの仕方などが印象に残った。
- つま先を上げる事。
- 50m走の時に早く走れそう。
- 最初にやったストレッチ。
- 最後のランジフォークが少しきつんですけど足の横の方が少し上手くなった気がした。そして足を速くするような気がした。

⑤ 今日習ったことをまわりの人にも教えてあげたいですか?

教えてあげたい	17
教えたくない	1
どちらともいえない	5

⑥ また教室があれば参加したいと思いませんか?

思う	19
思わない	1
どちらともいえない	2

※回答無し1名

【アンケート結果】

出典:安堵町教育委員会

### 参考資料（活動写真）



【ジュニアランニング教室】



【ジュニアランニング教室】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

検討開始、  
教職員アンケート

受け皿団体や  
指導者の選定

地域クラブ活動  
の開始

令和7年

協議会設立

生徒、保護者へ  
の説明

令和8年

地域クラブ活動  
の拡大

●ステークホルダー

教育委員会・教職員

●経過

休日の部活動の地域移行に関して、取組内容を確認。その上で、教職員に対して移行した場合の兼業兼職の希望・懸念事項などを共有した。

●実施にあたって生じた課題

段階的に休日のみ地域移行した場合、平日と休日の指導者が異なることから、指導に対して生徒に不安を抱かせることに繋がりがねないとの回答が見られた。

●実施内容、工夫した点 等

無記名のアンケート方式にしたことにより、教職員の思いを聞くことができた。

●ステークホルダー

教育委員会・生徒・指導者・保護者等

●経過

地域スポーツクラブの指導者に依頼し、令和6年度に体験教室（地域クラブ活動）を開催した。参加者の内訳等を参考に協議会にて今後の方向性を検討する。

●課題

- ・受益者負担
- ・種目の選定

●ステークホルダー

教育委員会・教職員・生徒・保護者

●経過

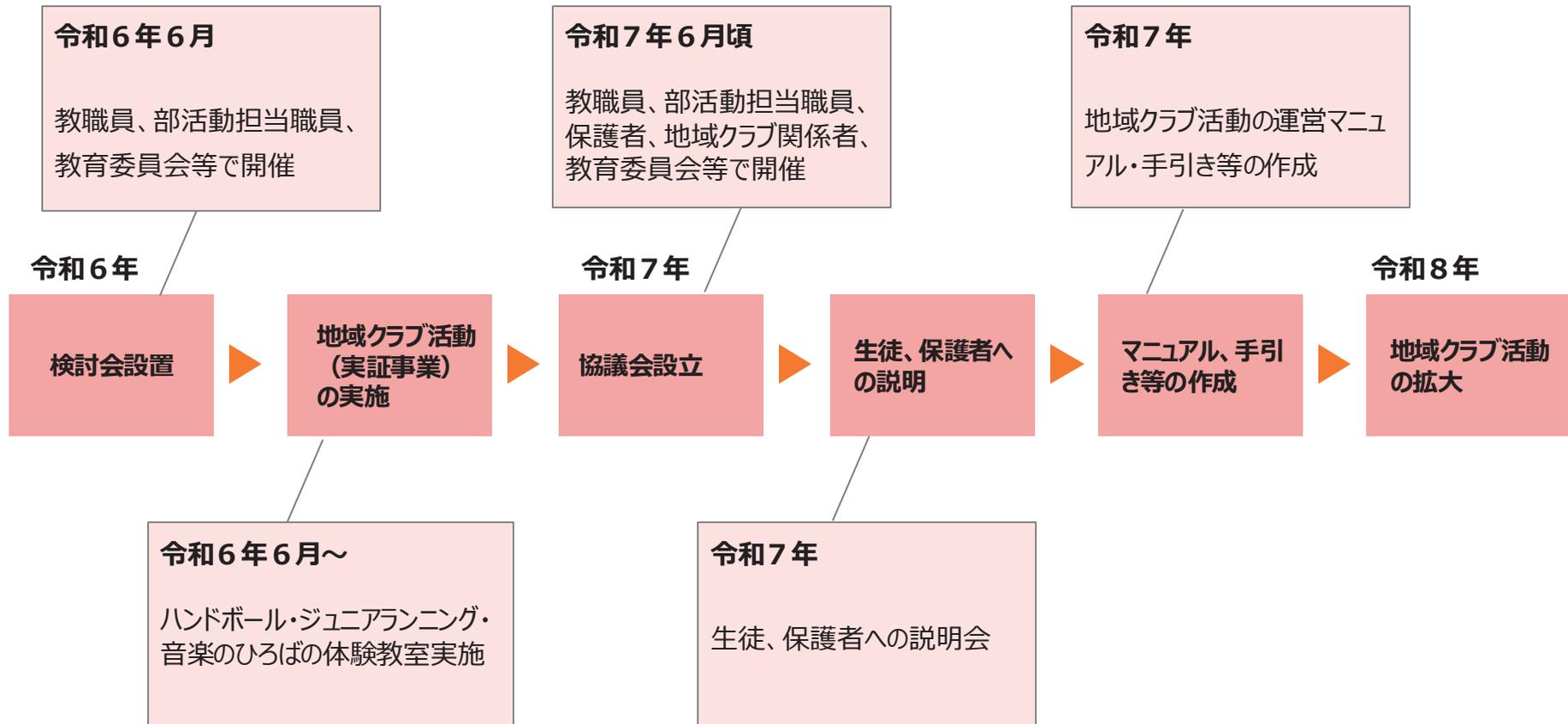
地域クラブに移行するにあたっての生徒・保護者向けの説明会を行う。

●課題

- ・受益者負担
- ・活動場所までの移手段

# 3. 今後の方向性

## 地域スポーツクラブ活動の今後の方向性



令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 奈良県 田原本町

自治体名：奈良県 田原本町

担当課名：教育総務課

電話番号：0744-34-2074

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	21 km <sup>2</sup>
人口	31,384 人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	716 人
部活動数	17 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	田原本町部活動検討委員会
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	今後、地域連携・地域移行に関する方針を策定予定

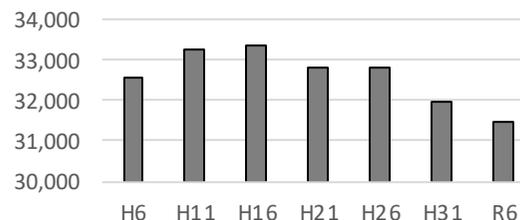
## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

- ・奈良県教育委員会では、中学校における休日の学校部活動の地域への移行の促進として、「令和 8 年度から休日における教員の指導による学校部活動を廃止する」との方向性を決定した。
- ・本町の現状から、少子化が進み、生徒数の減少とともに教員数も減少し、部活動は廃部や活動の縮小に追い込まれることが予想され、今後は従来と同様の部活動を維持・運営することは困難な状況となる。
- ・これまでの学校部活動は教員の献身的な勤務の下で成り立ってきたが、休日を含め、長時間勤務の要因であることや、指導経験のない教員にとっては多大な負担であるとともに、

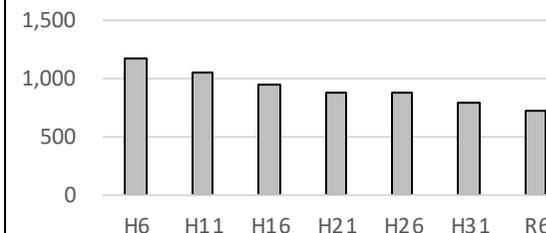
生徒にとっては望ましい指導を受けられない場合が生じている。部活動は、学校教育の一環として行われる活動であるが、必ずしも教員が担う必要のないものであり、持続可能な部活動における教員の負担軽減を図る必要がある。

- ・学校の施設を利用し、総合型地域スポーツクラブが運営団体となる体制を整備し、令和 6 年 8 月から剣道を休日の地域クラブ活動として実施している。
- ・安定的に運営できる地域クラブ活動には、運営資金や人材確保の面でも持続的に活動できるための体制が不可欠である。

田原本町における総人口の推移

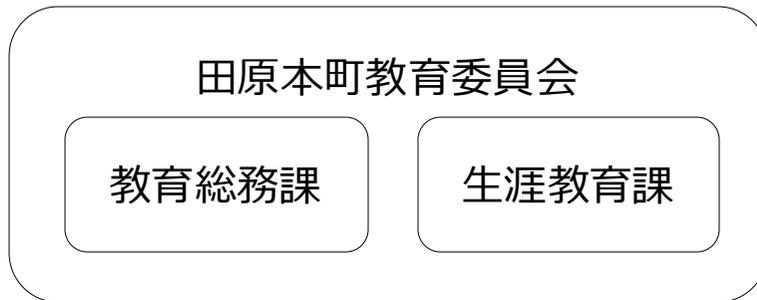


田原本町における中学生生徒数の推移



### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・県との連絡調整、補助金の申請、報告
- ・運営団体による事業実施の補助・支援
- ・今後の部活動のあり方について検討

##### ◎首長部局

- ・財政支援など

### 年間の事業スケジュール

令和6年5月	複数の市町が共同で担当者研修会を実施した。
令和6年6月	学校部活動の地域移行に向けて、剣道部保護者会を開催した。
令和6年7月	総合型地域スポーツクラブと地域クラブ管理等運営業務の委託契約を締結した。
令和6年10月	教職員との部活動地域移行意見交換会を開催した。 田原本町立中学校拠点校部活動実施要項を制定した。
令和6年11月	新入生保護者説明会で「休日における中学校部活動の地域移行について」報告した。

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	2校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	2人	全体の運営スタッフ数	1人

#### ②各クラブに関すること

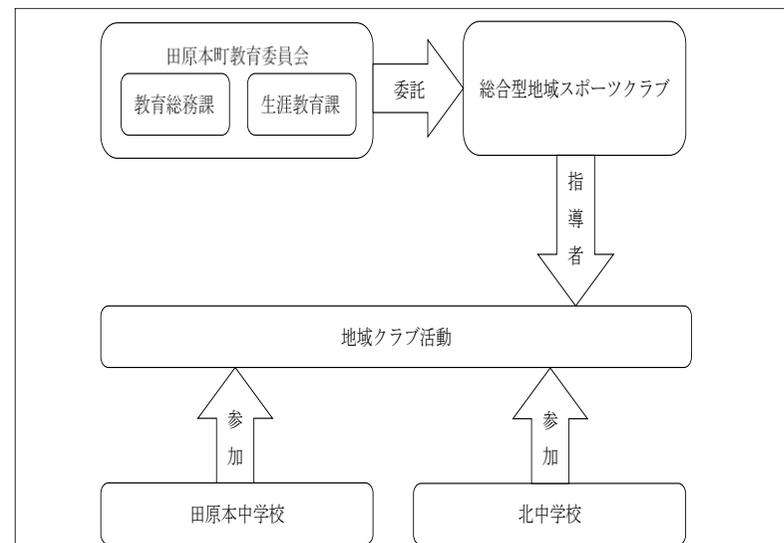
クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
田原本町地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	剣道	月4回／週1回	午前9時～12時	1年：4人	令和6年8月～令和7年3月	田原本中学校	2人	1人（内、兼務0人）	町負担	中体連：部活動

## 主な取組例

### ● 田原本町地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道
運営団体名	特定非営利活動法人 青垣すまいるクラブ
期間と日数	剣道：8月10日～3月22日 月4回程度
指導者の主な属性	競技団体所属の指導者
活動場所	田原本中学校
主な移動手段	保護者による送迎や徒歩または自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	町負担
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 指導者 2名  
役割：地域クラブ活動の指導、活動計画の作成、活動中止の判断、活動中の事故やけがへの対応及び報告、生徒の活動への出欠状況把握、学校施設及び物品の使用管理
- 事務担当者 1名  
役割：指導状況の確認、学校及び町との連絡調整、指導者の労務管理及び勤怠管理、業務完了報告書の作成

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- ・学校の施設を利用し、町内生徒が安全・安心に参加でき、保護者も安心して任せられることができるよう、公益性があるとともに町内に事業所を置く総合型地域スポーツクラブが運営団体となる体制を整備した。
- ・「総合型地域スポーツクラブ側は学校部活動の実情が分からない」等の懸念があった。

##### 取組の成果

- ・学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた環境整備にあたっては、本町の実情に応じたスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、持続的に活動することを前提とした仕組みを構築する必要がある。中学生が参加する地域クラブ活動の運営を行うとともに、スケジュール管理、保護者との連絡調整、保険加入手続き及び申請等の地域スポーツクラブ管理等運営業務の委託契約を総合型地域スポーツクラブと締結した。
- ・地域クラブ活動の運営に必要な業務を効率的に対応できるよう、総合型地域スポーツクラブのノウハウ等の活用を進めることができた。

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

コーディネーターの配置無し

##### 今後の課題と対応方針

- ・統括コーディネーターを配置し、運営団体と中学校の連絡調整や人材の確保など、持続可能な運営ができる体制の整備を行う。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

- ・今後、少子化が一層進む中、「学校単位」で活動し、「教員が指導」を行うことを前提とした「学校部活動」という生徒にスポーツ・文化芸術活動を提供する仕組みは持続可能でないことを踏まえ、学校部活動に代わり、将来にわたって、生徒が地域でスポーツ・文化芸術活動に親しめる環境を新たに構築していく必要がある。
- ・これまでの学校部活動は、学校の教育活動の一環として原則無償で提供されていたことから、保護者に十分な説明を行い、理解を得る必要がある。
- ・持続可能な地域クラブ活動の運営のためには受益者負担が必要となるが、できるだけ低廉な参加費額となるようにする必要がある。また、受益者負担が発生することで、地域クラブ活動に参加できなくなる生徒が発生することを防ぐ必要がある。
- ・必要な備品や消耗品等についても、現在は学校が所有しているものを借用しているが、将来的には買い替えるための費用が必要になる。

#### ●成果の評価

- ・部活動指導の精神的、身体的な負担が減ったと答えた地域クラブ活動に移行した学校部活動の顧問の割合が100%となった。
- ・指導可能な人材を十分に確保できるかという点に懸念がある。
- ・地域移行の取組が開始されてから期間が短いため、生徒・保護者・指導者の地域クラブに対する認識に差がある。

#### ●今後に向けて

- ・既存の学校行事や部活動と地域クラブ活動との調和が図られるよう、学校関係者や保護者に対して、地域スポーツクラブ活動への認知・理解が深まるように普及活動に力を入れていく。
- ・地域クラブ活動の運営や指導者配置等に必要なコストの検証や会費の適切な設定・徴収方法の検討が必要である。

### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果

Q.あなたは、どのような目標や目的を持って休日の地域クラブ活動に参加していますか？

- ・剣道の腕を上げるため。
- ・もともとあった部活の土日の分をまかなうため。
- ・塾が少ない土日にできたらいいと思うから。
- ・上手になる。
- ・剣道をやりたかったから。

Q.休日の地域クラブ活動に参加している中で、心配な点はどのようなことですか？

- ・もう少し人数が増えるのかなという心配がある。
- ・特になし。

Q.休日の地域クラブ活動に参加している中で、良かった点はどのようなことですか？

- ・部活と同じコーチだったり、場所も同じでよかった。
- ・昼でなく朝で、あまり予定とかぶらない。
- ・連絡がしやすい。
- ・別の中学の人とも会えた。
- ・休日も体を動かせた。
- ・剣道ができて良かった。

Q.休日の地域クラブ活動に参加した感想や意見などを自由に記入してください？

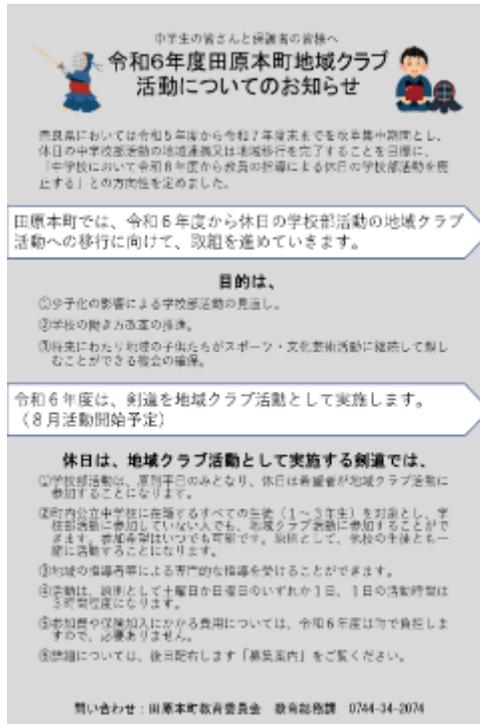
- ・同じ場所だったり、同じコーチで安心した。
- ・もう少し人数が増えてほしいと思う。
- ・部活とほぼ変わらないので助かった。
- ・楽しいです。

## 2.実証内容と成果③

### 広報資料

令和6年4月、「令和6年度田原本町地域クラブ活動についてのお知らせ」を町内各中学校の関係者に配布した。

令和6年7月、「田原本町地域クラブ員募集案内」を町内各中学校関係者に配布した。



中学生の皆さんと保護者の皆様へ

### 令和6年度田原本町地域クラブ活動についてのお知らせ

奈良県においては令和5年度から令和7年度末までを改革集中期間とし、休日の中学校部活動の地域連携又は地域移行を完了することを目標に、「中学校において令和6年度から教員の指導による休日の学校部活動を廃止する」との方針性を定めました。

田原本町では、令和6年度から休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けて、取組を進めていきます。

**目的は、**

- ①少子化の影響による学校部活動の見直し。
- ②学校の働き方改革の推進。
- ③将来にわたり地域の子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して取り組むことができる機会の確保。

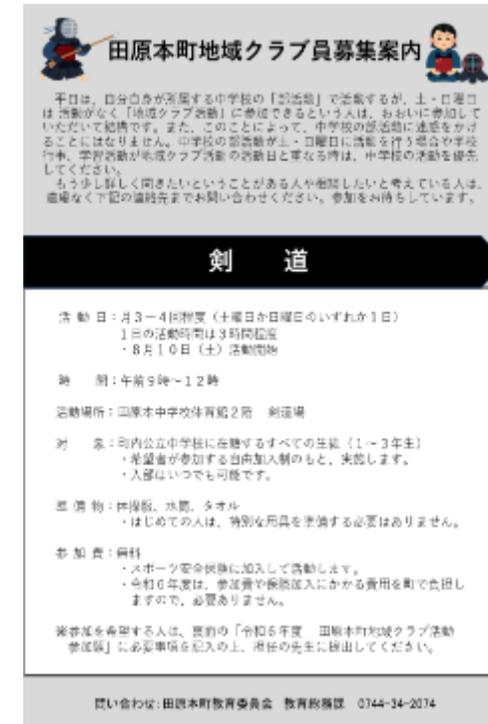
令和6年度は、剣道を地域クラブ活動として実施します。  
(8月活動開始予定)

**休日は、地域クラブ活動として実施する剣道では、**

- ①学校部活動は、原則平日のみとなり、休日は保護者が地域クラブ活動に参加することになります。
- ②町内公立中学校に在籍するすべての生徒（1～3年生）を対象とし、学校部活動に参加していない人でも、地域クラブ活動に参加することができます。参加希望はいつでも可願です。原則として、学校の生徒と同一部に活動することになります。
- ③地域の指導者による専門的な指導を受けることができます。
- ④活動は、原則として土曜日から日曜日のいずれか1日、1日の活動時間は3時間程度になります。
- ⑤参加費や保険加入にかかる費用については、令和6年度は町で負担しますので、必要ありません。
- ⑥詳細については、後日記右します「募集案内」をご覧ください。

問い合わせ：田原本町教育委員会 教育総務課 0744-34-2074

【生徒への参加啓発チラシ】



### 田原本町地域クラブ員募集案内

平日は、自分自身が所属する中学校の「部活動」で活動するが、土・日曜日は活動がなく、「地域クラブ活動」に参加できるという人は、おおいに参加していただきたいです。また、このことによって、中学校の部活動に迷惑をかけることにはなりません。中学校の部活動停止・日曜日に活動を行う場合や学校行事、学習活動が地域クラブ活動の活動日と重なる時は、中学校の活動を優先してください。

もう少し詳しく聞きたいということがある人や参加したいと考えている人は、血縁なく下記の連絡先までお問い合わせください。参加をお待ちしています。

## 剣道

活動日：月3～4回程度（土曜日から日曜日のいずれか1日）  
1日の活動時間は3時間程度  
・8月10日（土）活動開始

時 間：午前9時～12時

活動場所：田原本中学校体育館2階 剣道場

対 象：町内公立中学校に在籍するすべての生徒（1～3年生）  
・希望者が参加する自由加入制のもと、実施します。  
・入部はいつでも可能です。

参 加 費：1,000円  
・はじめての人は、特別な用具を準備する必要はありません。

参 加 費：1,000円  
・スポーツ安全保険に加入して活動します。  
・令和6年度は、参加費や保険加入にかかる費用を町で負担しますので、必要ありません。

参加者を希望する人は、原則「令和6年度 田原本町地域クラブ活動 参加届」に必要事項を記入の上、担任の先生に提出してください。

問い合わせ：田原本町教育委員会 教育総務課 0744-34-2074

【募集案内】

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【練習】



【練習】



【練習】



【整理体操】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

部活動検討委員会設置、検討開始

受け皿団体や指導者の選定、拠点校の選定

学校現場との調整

令和6年

地域クラブ活動の開始

新入生保護者への説明

令和7年

地域クラブ活動の拡大

- ステークホルダー
  - ・中学校長
  - ・中学校部活動担当教員の代表
- 経過
  - ・部活動検討委員会を開催し、課題等を共有
- 実施にあたって生じた課題
  - ・安心して子どもたちへの指導を任せられる指導者の育成・確保
  - ・平日・休日の一貫指導
- 実施内容、工夫した点等
  - ・教員のニーズ収集を把握するため、休日の学校部活動や地域クラブ活動に関するアンケートを実施

- ステークホルダー
  - ・教職員
- 経過
  - ・部活動地域移行意見交換会を開催し、情報や意見を交換
- 実施にあたって生じた課題
  - ・既存の部活動種目の見直し、活動種目の再編成
  - ・兼職兼業の認知度の低さ
  - ・平日・休日の一貫指導
- 実施内容、工夫した点等
  - ・学校現場での関係者との対話重視
  - ・地域移行に対する理解醸成のため意見交換会での説明

- ステークホルダー
  - ・新入生保護者
- 経過
  - ・新入生保護者説明会で、「休日における中学校部活動の地域移行について」報告
- 実施にあたって生じた課題
  - ・地域移行への認知度の低さ
- 実施内容、工夫した点等
  - ・会費徴収の呼び掛け

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

**改革推進期間において今後の地域連携・地域移行に関する  
方針を策定予定**

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 奈良県 王寺町

自治体名：奈良県 王寺町

担当課名：学校教育課

電話番号：0745-72-1031



# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	7.01 km <sup>2</sup>
人口	23,706 人
公立義務教育学校数	2 校
公立義務教育学校（後期課程）生徒数	624 人
部活動数	22 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	王寺町立義務教育学校部活動地域移行等に係る検討委員会
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	現在策定中

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

生徒数や教員数の減少に伴い、町内に2校ある義務教育学校において、生徒が希望する部活動を行うことができない状況となっている。また、部活動は、地域のスポーツ振興という点においても、学校における生徒指導面においても重要な役割を担っている。今回も昨年度に引き続きの休日部活動の段階的な地域移行に向けての実証事業として、両校の卓球部の希望者を募って、月1回実施した。

今後、部活動の地域移行を進めていくにあたり、地域指導者が一貫して指導に当たる協力体制の構築と財政面での支援が重要であると考えます。



王寺町立王寺南義務教育学校  
畠田学舎

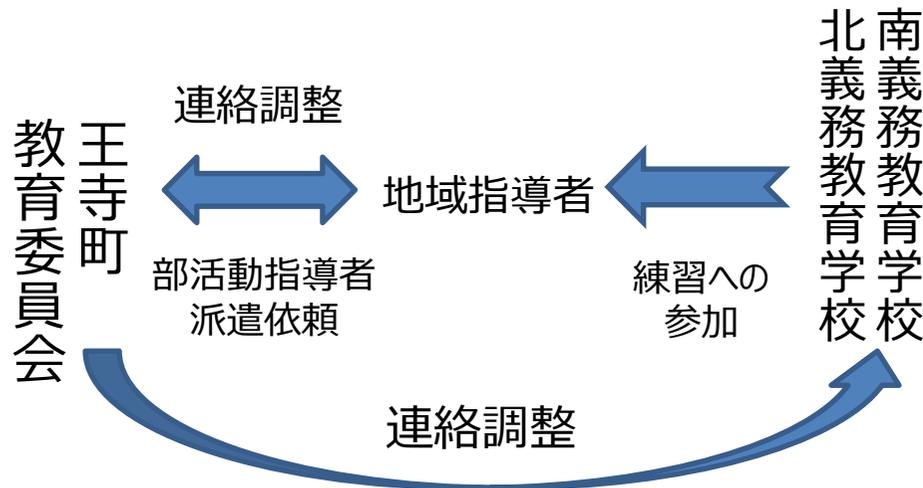


王寺町立王寺北義務教育学校

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・学校教育課…部活動改革の主幹、学校との調整・連携、学校に関する事項について
- ・生涯教育課…総合型地域スポーツクラブやわらぎトラストの環境整備

##### ◎首長部局

- ・政策推進課…予算措置

### 年間の事業スケジュール

令和6年5月	第1回実証事業・卓球
令和6年6月	第2回実証事業・卓球
令和6年7月	第3回実証事業・卓球
令和6年8月	第4回実証事業・卓球
令和6年9月	第5回実証事業・卓球
令和6年10月	第6回実証事業・卓球
令和6年11月	第7回実証事業・卓球
令和6年11月	第1回検討委員会
令和7年1月	第8回実証事業・卓球
令和7年2月	第9回実証事業・卓球
令和7年3月	第10回実証事業・卓球
	部活動地域移行等に係るプロジェクト会議

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

義務教育学校数	2校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1クラブ（1部活）
全体の指導者数	1人	全体の運営スタッフ数	2人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体 種別	種目 ※新規のものは未 尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
Mクラブ	町教委事 務局	卓球	月1回	8:45～ 11:45	7年：11人 8年：4人 9年：6人	5月～ 3月	王寺北義 務教育学 校中体育 館	1人	2人	月会費 0円 年会費 0円	中体連：部活動 その他：部活動

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

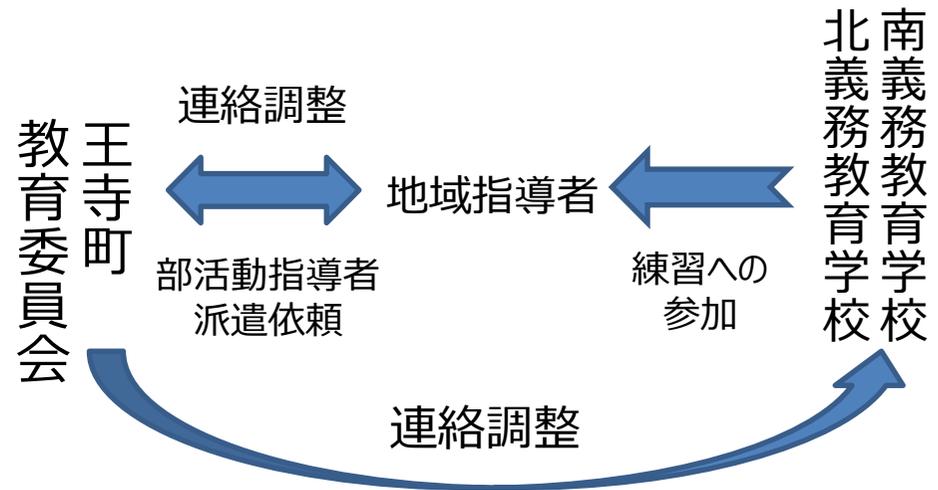
- 特に実施せず

## 主な取組例

### ●卓球クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球
運営団体名	Mクラブ
期間と日数	卓球：5月18日～3月8日 月1回
指導者の主な属性	元公立学校長
活動場所	王寺北義務教育学校 中体育館
主な移動手段	徒歩または保護者による送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	個人負担なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者 1名  
役割：計画・立案を行う、学校との連絡調整・会場の確保等を行う
- 主任指導者 1名  
役割：生徒に対する技術指導を行う
- 運営補助者 1名  
役割：統括責任者の補助

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- 教育委員会と学校等の連絡・調整等を行うコーディネーターを配置した。コーディネーターを中心に、学校管理職、部活動の顧問等に部活動の地域移行に向けての課題などについての意見交換を行った。
- 部活動地域移行の実証事業に参加するとともに、定例教育委員会、校園長会、教頭主任会、生徒指導連絡協議会等で部活動の地域移行に向けて定期的に意見交換を行った。

##### 取組の成果

- 奈良県においては令和5年度から7年度までを「改革集中期間」とし、休日の中学校部活動の地域連携又は地域移行を完了することを目標に、「中学校において令和8年度から教員の指導による休日の学校部活動を廃止する」との方向性は決定されている。この活動を通して、管理職をはじめ、実際部活動顧問に対しての意識づけに繋がり、具体的に考えるきっかけとなった。

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

【統括コーディネーター】

- 実証事業の開催日には会場のセキュリティーの開・閉錠を行った。
- 学校、参加者、指導者への連絡調整を実施した。

##### 今後の課題と対応方針

- 生徒や保護者、学校関係者、部活動顧問、スポーツ関係団体等とともに、将来の部活動への危機感を共有し、教員の働き方改革に終わるのではなく、生徒たちが学校生活を送る上での部活動の重要性を考えていく必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

- 元教員の活用
- 総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラストとの意見交換
- 教職員の地域指導者（兼職兼業）としての意向調査

##### 種目

- 卓球

##### 資格有無

- 上級公認コーチ

##### 取組の成果

- 卓球部において月1回実証事業を実施することができた。指導者は元教員（町内の校長）で生徒への指導は上手く、生徒たちも積極的に技術向上に努めていた。実施後の生徒たちへのアンケート結果では、次年度も実施されれば、「参加したい」と回答した生徒がほとんどであり、昨年を引き続き肯定的な意見が多かった。
- 参加者の心身の健康管理・事故防止を徹底し、生徒自身も楽しく活動していた。

##### 今後の課題と対応方針

- 地域指導者の確保を教育委員会のみで行うことは困難なため、県の人材バンク、総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト等、様々な機関を通じて指導者を確保する必要がある。
- 教職員が兼職兼業の許可を得て地域で指導する際に、本来の業務へ影響が生じることのないように、心身に過重な負担とならないように配慮する必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
**ウ：関係団体・分野との連携強化**  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

●競技スポーツ中心の学校部活動と余暇活動を中心の地域スポーツクラブへの指導内容等の違い等もあり、関係団体との連携強化については、卓球部の実証事業以外においては、具体的に取り組むことはできなかった。

##### 今後の課題と対応方針

- 本町における部活動の地域移行における方針を決定したうえ、指導者確保に向け、県の人材バンク、総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト（以下、やわらぎトラスト）、民間スポーツ会社、部活動指導者等と連携していく必要がある。特にやわらぎトラストにおいては、数多くの種目、その指導者、前期課程の児童たちが所属しているため、学校部活動（後期課程の生徒たち）の地域スポーツへの受け皿として十分に考えることができるので連携を図っていきたい。
- 地域の実情等に応じて安定的・継続的に取組が進められるよう、受益者負担と公的負担とのバランスの費用負担の在り方を検討する必要がある。受益者負担水準については、国において金額の目安を示すことを検討する必要があると考える。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

- 指導経験が豊富な元教員を卓球部の地域指導者として任用した。
- 北義務教育学校を拠点として、南義務教育学校の生徒の参加も認めた。

##### 取組の成果

- 指導者からの技術指導は、生徒自らが考えてプレーできるように、ポイントを絞った指導を心がけてもらった。そのため、生徒たちは以前より自ら考え、進んで活動することができた。
- 生徒たちは競技力の向上だけでなく、お互いに助け合い、協力することの大切さを学ぶことができた。
- 楽しくプレーすることに重点を置き、活動を行ったことより、アンケート結果からみても生徒たちからは好評であった。

##### 今後の課題と対応方針

- 実証事業の実施回数は少なかったが、今後の地域移行を目指すための手掛かりになった。引き続き、学校、生徒・保護者・地域指導者との連携を図り、地域移行による部活動の内容の充実に取り組んでいきたい。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

- 町立王寺北義務教育学校の中体育館を活用した。
- 町立王寺北義務教育学校の施設・備品を利用した。
- 今回の実証事業においては学校施設・備品を使用したため、使用料は徴収しなかった。

##### 取組の成果

- 王寺北義務教育学校は、避難所にも使用できる冷暖房完備の施設である。そのため、部員たちの熱中症を心配することなく、快適に実施することができた。
- 日頃から生徒たちが使用している施設・備品であるため、特に利用にあたっては混乱はなかった。

##### 今後の課題と対応方針

- 学校体育施設については、これまでも学校開放を行っており、地域運動部活動を実施する場としても活用が可能であるため、今後、休日の地域運動部活動の円滑な移行に向け、各組織・団体、学校等の間において調整・連携を図っていく必要がある。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

- ・月に1度の実施ではあったが、生徒たちは意欲的に取り組み、技術力の向上に努めていた。
- ・令和8年度の休日の完全地域展開に向けて、本来なら多くの種目で実施しなければならなかったが、指導者の確保ができず今年度も卓球のみの実証事業となってしまった。
- ・実証事業に参加した生徒の感想からもわかるように有資格者からの指導は有意義なものでこれからも参加したいと思っている生徒がほぼ全員であった。

#### ●成果の評価

- ・保護者には事業の趣旨については十分に説明ができないままのスタートではあったが、おおむね好評であった。
- ・学校部活動の平日の指導者は教員で、実証事業の指導者は地域人材ではあったが、何ら問題なく活動することができた。

#### ●今後に向けて

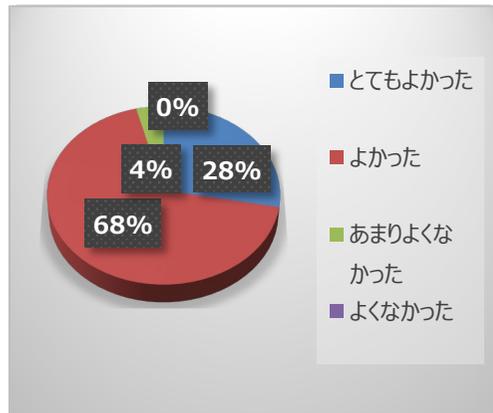
- ・指導者については県の人材バンクに頼るだけでなく、町独自のバンクを立ち上げ人材確保に努めたい。
- ・教員の働き方改革がベースにあるため、基本的には休日の活動は地域指導員ということになるが、当面は大会運営や生徒引率を考えると教員にもお願いせざるを得ない状況にある。
- ・受益者負担について熟考する必要がある。
- ・実施回数については検討していく必要がある。
- ・補助金・人材の確保さえクリアできれば、教員の働き方改革の一端を担うことは可能となってくる。そのためにも補助金については首長部局との折衝により、また、人材については総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラストとの連携により確保していければと考えている。



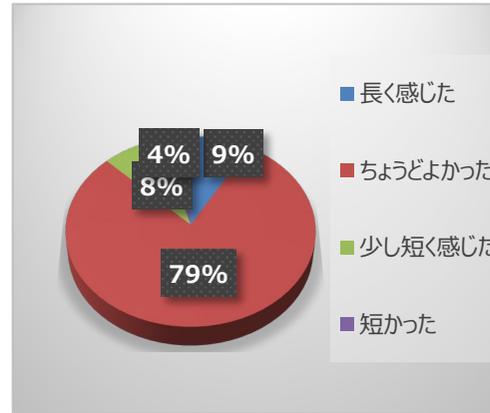
## アンケート結果・参加者の声

### ●アンケート結果

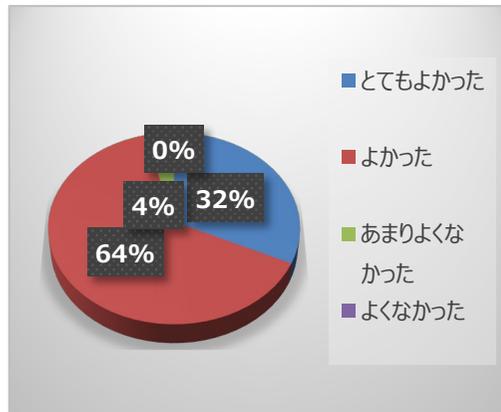
Q1.卓球教室に参加してよかったですか



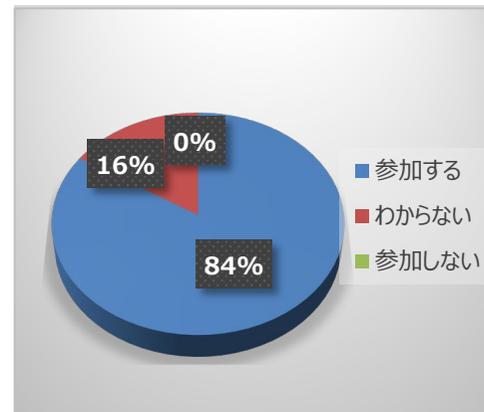
Q2.活動時間はどうでしたか



Q3.活動内容はどうでしたか



Q4.来学期も参加しますか



### ●参加者の声

#### 7年生

ふだん練習していないことができて楽しかった

#### 8年生

一生懸命取り組むことができました。

#### 8年生

日頃はラリー中心の練習しかしていなかったが、卓球教室では基礎練習を中心に教えてもらうことができたので、技術もかなり向上したと思います。

#### 9年生

これまで大会に出場してもほぼ1回戦負けで、何も感じることはなかったけれど、卓球教室に参加したおかげで、少なくとも3試合は勝つことができ、勝つ喜びと負ける悔しさを学ぶことができました。高校に入ってから卓球を続けたいと思いました。

#### 指導者

レベルの差があるため、その子に合った練習ができたかどうかかわからないが、どの子も上達しようという意気込みをひしひしと感じることができた。

## 2.実証内容と成果③

### 参考資料（活動写真）



【練習風景1】



【練習風景2】



【ミーティング】



【実技指導】

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

検討委員会、プロジェクトチーム設置、検討開始



令和7年

受け皿団体や指導者の選定  
生徒・保護者・教員へのアンケート実施



学校現場との調整  
教員への説明



生徒、保護者への説明



令和8年

地域クラブ活動の開始

#### ●検討委員会ステークホルダー

スポーツ協会、文化協会、総合型地域倶楽部やわらぎトラスト、PTA代表や学校関係者等

#### ●経過

今後の王寺町における学校部活動の在り方を検討するため、両校部活動の現状や国・県における休日の部活動の地域移行における方針等の説明、指導者の確保や地域クラブへ移行した際の保護者負担等の課題について意見交換を行った。

#### ●プロジェクトチームステークホルダー

有識者、県教育委員会事務局担当者、学校関係の代表者、総合型地域倶楽部やわらぎトラスト代表者、町教育委員会事務局

#### ●経過

検討委員会の下にプロジェクトチームを発足し、部活動の運営に対する様々な課題に対して協議し、検討委員会等ともしっかり連携を図り、子どもたちにとって望ましい部活動の在り方について検討する。

#### ●生徒、保護者への説明

・PTA本部役員・運営委員等

#### ●課題と今後に向けて

- ・保護者への説明と理解
- ・大会への引率はこれまでどおり教員の力を借りなければいけない状況であった。
- ・生徒引率をはじめ、大会運営等をすべて地域指導員に任せることができるのか。
- ・持続可能な活動にするためには総合型地域スポーツクラブとの連携
- ・活動費の受益者負担について

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和6年度

令和7年度

令和8年度

- ・ 検討委員会の設置
- ・ 地域移行の方向性等の検討
- ・ 地域移行に向けた実証事業  
（部活動指導員の活用・地域指導者との連携・拠点校部活動・指導者の確保）

教員の指導による休日の学校部活動を廃止

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 奈良県・河合町

自治体名：奈良県・河合町

担当課名：教育委員会 教育振興部 総務課

電話番号：0745-57-0200

## 基本情報

面積	8.23 km <sup>2</sup>
人口	16,794 人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	303 人
部活動数	13 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	部活動地域移行に伴う整備委員会の設置状況
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	「河合町部活動地域移行推進計画」(令和5年7月)

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題①

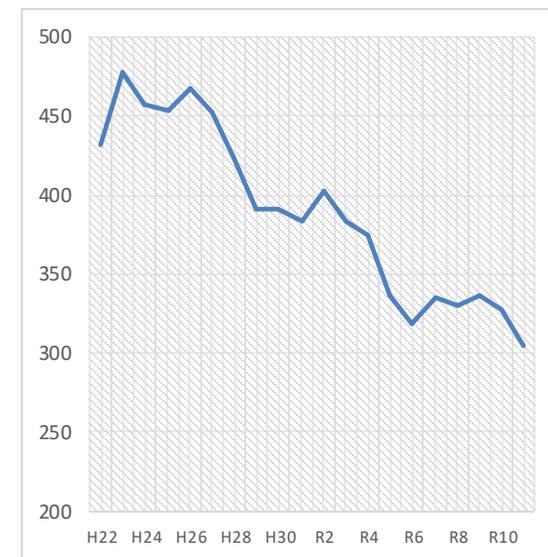
**1. 生徒数の減少に伴う学校部活動の状況**  
 河合町は奈良盆地の西部、なだらかに起伏する馬見丘陵の北東部に位置し、総面積約8.23平方キロメートル、1960年代からニュータウンとして開発され大規模な住宅地を形成していた。総人口は2000年がピークで約2万人。2000年から徐々に減少し現在は約1万6千人となっている。

生徒数も、この10年間で約100人以上減少し、ピーク時には約1000人いた中学生が現在は約300人にまで減少し、今後も漸減傾向にある。

その結果、かつてはサッカーやラグビー、軟式野球、男女バレーボール、バスケットボール部などの運動部が活動していたが、部員不足でチームとして編成ができず加入者も減りほとんどが廃部となった。

ソフトテニスや卓球、バドミントン、陸上競技といった少人数又は個人で取り組める競技については活動は実施されてはいるが、総生徒数自体が少ないので、部活動に参加する生徒数も少なく、各部とも部員不足状態が続いている。

河合町立中学校の生徒数推移（予測）



## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題②

### 2. 部活動に携わる教員の現状と意識

教員対象調査において部活動指導の専門性を問うたところ、7割が「専門でない。」と回答し、多くの教員が日々の指導に課題を抱えている。

また、「地域クラブで指導を希望するか。」との設問について、「希望する。」と答えたのは10%であった。「手当よりも休日そのものがほしい。」など現状の改善を望む声も多い。

### 3. 地域のスポーツ・文化芸術団体の現状

町スポーツ協会など地域の団体や指導者からは、協議会（整備委員会）等における話し合いを通し、休日部活動の地域移行推進について理解を得ている。

しかし、団体構成員の高齢化が進み専門的な指導力、指導資格等について課題が示されている。

### 4. 生徒、保護者の部活動や地域移行についての意識

中学校1、2年生の約80%が学校部活動に参加し、学校外で活動している生徒を含め85%の生徒が休日や放課後の活動に満足感を持っている。保護者との意見交流では、学校部活動の現状をふまえた地域クラブ活動の必要性が認識され、特に小学生を持つ保護者からは地域クラブの動向について情報提供を求める声もある。

### 5. 当面の課題

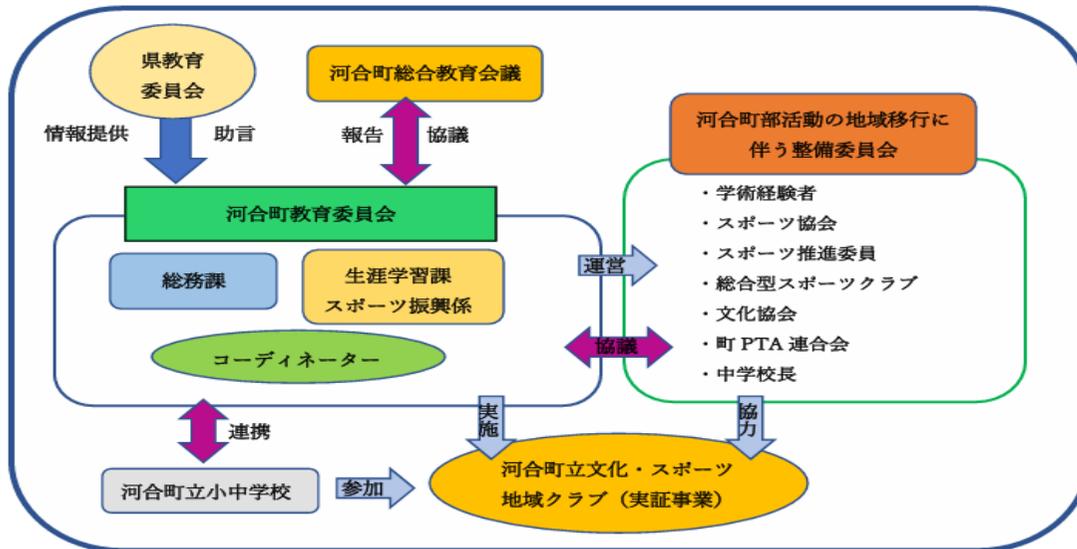
近年、学校部活動を取り巻く環境が厳しさを増しており、生徒の減少に伴う部活動数の減少、学校の縮小化に伴う教員の負担増加、さらに教員の人事異動により、生徒にとって望ましい指導を継続して受けられないといった多くの課題がある。

こうしたことから、学校教員の負担を減らすとともに地域の方々の力を借りて生徒により良い活動の場を提供できるよう、学校部活動を地域クラブ活動へ段階的に移行するため、町教育委員会が中心となり、競技団体やスポーツ少年団、文化芸術関係者や学校関係者等で組織する持続可能な部活動と教員の負担軽減の両方を実現できるようにするための仕組みづくりを検討している。

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会（総務課）

- ・推進計画の作成
- ・地域移行に伴う整備委員会の開催、運営
- ・町内各学校との連絡、調整
- ・関係部署との連絡、調整

##### ◎教育委員会（生涯学習課・スポーツ振興係）

- ・スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等との連絡調整
- ・文化協会との連絡調整
- ・町PTA連合会との連携

### 年間の事業スケジュール

令和6年4・5月	中学校部活動所属 生徒数・部活動担当者数調査 中学校訪問 部活動活動状況の観察
6・7月	地域クラブ構想について検討 部活動整備委員会開催
8月	実証事業企画案検討 学校、地域指導者との懇談
9・10月	実証事業企画書 募集案内作成、配布
11月	部活動整備委員会開催 実証事業開催
12月	実証事業開催
令和7年1月	実証事業総括
2・3月	次年度の実証事業について 学校、地域指導者との懇談 教育委員会での年間総括

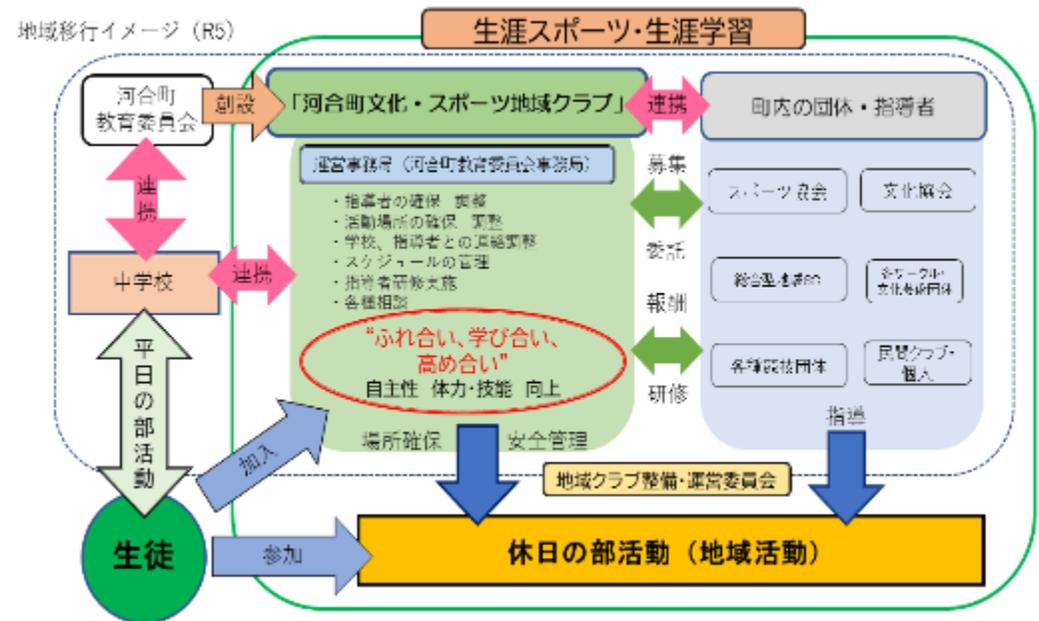
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●河合町クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	野球
運営団体名	河合町教育委員会
期間と日数	野球 11月16日～12月21日 全5回程度
指導者の主な属性	スポーツ少年団指導員 中学校教員（兼職・兼業）
活動場所	河合町総合スポーツ公園
主な移動手段	徒歩、保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	無償
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

##### ●統括責任者

役割：活動における管理者として指導者、学校、保護者との連携を行う

##### ●主任指導者 1名

役割：活動における責任者として指導を行う

##### ●運営補助者

役割：活動において、主任指導者のサポートを行いながら指導もを行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

休日の地域クラブ活動では総合型地域スポーツクラブの事務局として、事務局内にコーディネーターを配置する。

コーディネーターを通じて、町教育委員会、学校との連絡調整が円滑に行われる体制を整備する。さらに、事務局を通じて事業費の運用や調整、地域クラブ活動の参加者管理、地域クラブ活動参加者及び地域クラブ活動指導者の連絡調整等を行う体制を整備していく。

##### 取組の成果

- ・関係諸団体の参加を得て「河合町部活動地域移行に伴う整備委員会」を年2回（7月、11月）開催し、休日部活動の地域移行の必要性を共通理解することができた。現状、最大の課題は地域の中で中学生を指導できる指導者を確保することであり、引き続き検討を進める必要がある。
- ・学校部活動の競技種目と関連する地域団体を個別訪問し、地域移行についての啓発、情報提供を行い理解と協力を求めた。各団体の代表者には、概ね賛同を得ることができ、今後も情報発信を継続することが必要である。
- ・町PTA連合会の会合に参加し、地域移行の趣旨や町の取組について説明の機会を得た。保護者の関心は高く、引き続き情報提供の要請があった。
- ・毎月の町校長会、教頭会において整備委員会における検討状況を報告するとともに協議を行った。また、中学校長との懇談会を実施し、今後の進め方について意見を交換した。今後の学校部活動の活動状況を見通し、地域クラブの内容を検討していくことの必要性を確認した。
- ・生徒、保護者からは地域クラブにおいて専門的な指導を期待する声が多くあげられているが、教員は、地域クラブでの指導に対しては消極的である。

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・学校と地域をつなぐパイプ役となり、相互のコミュニケーションが向上した。
- ・活動環境（練習場所の確保や日程調整）の整備などが充実した。
- ・教員の活動全般のサポート。

##### 今後の課題と対応方針

- ・指導人材の確保についての方針を検討する。
- ・試行的な事業を拡大し、関係者との協議を重ね本格実施に向けた課題を一つずつ解決する。その過程を通して、河合町文化・スポーツ地域クラブ実施要項を策定する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

- ・試行的な地域クラブ活動の実施

##### 取組の成果

- ・町スポーツ少年団（河合フレンズ）の協力を得て、「河合町地域クラブ・野球スクール」の実施ができた。
- ・体験を希望する小学生16名、中学生6名が土曜日の午前に計5日活動を行った。小学生は16名と多くの参加者があり、野球の基本を体験するプログラムに取り組むなかで中学生との交流も図れた。
- ・町スポーツ少年団（河合フレンズ）の協力を得て、「河合町地域クラブ・野球スクール」の実施ができた。
- ・体験を希望する小学生16名、中学生6名が土曜日の午前に計5日活動を行った。小学生は16名と多くの参加者があり、野球の基本を体験するプログラムに取り組むなかで中学生との交流も図れた。今後も野球と続けたいと思っている児童生徒が70%あり一定の成果があったと思われる。
- ・兼職兼業の承認を得た部活動顧問教員とスポーツ少年団の指導者が協力して指導にあたったため、平日と休日の活動が連続して行われた。
- ・中学校野球部の顧問教員がいない日も活動を実施することができるようになり、顧問教員は安心して休暇を取得することができた。

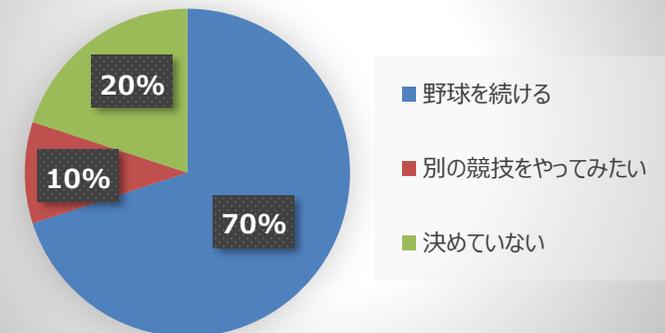
##### 特に工夫したこと

- ・本町では、小学校と中学校との連携を進めており、試行的な取組を行う際、参加者を中学生のみとせず、小学校高学年の児童にも部活動体験として募集を行った。

##### 今後の課題と対応方針

- ・今後地域クラブとして野球スクールを実施していくには、協力いただいた団体の日常活動との兼ね合いもあり、継続的に指導できる人材の確保が必要になる。団体の人脈を通して、発掘していきたい。
- ・指導者謝金、指導者と参加者のスポーツ安全保険料を公費負担として実施した。今後の展開にあたり、こうした費用をどのように賄うのか保護者負担等を含め検討する。

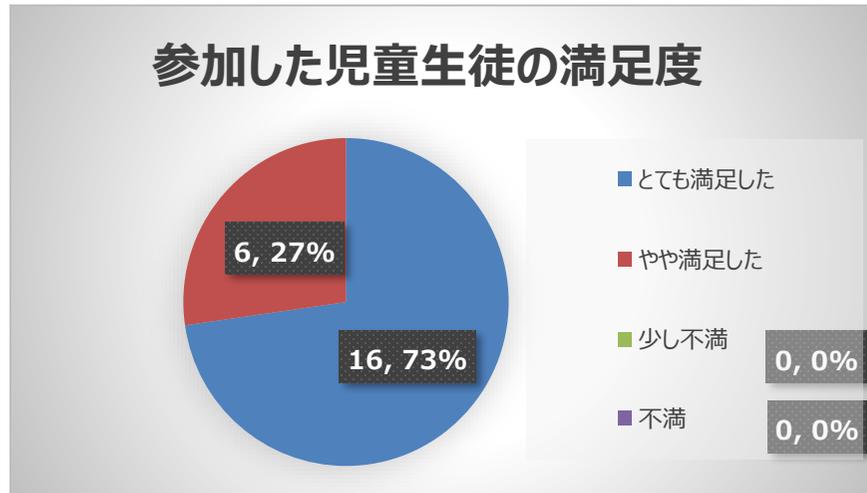
### 今後も野球を続けますか



### 広報資料・アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果

Q地域クラブの活動として参加した「野球教室」についての満足度を教えてください。



小中学生双方に良い効果があり、参加者の満足度が100%であった。

#### ●参加者の声

##### 小学生

・中学生のすごさを感じました。話を聞く姿勢や返事など見習うことが多くありました。練習でも中学生は集中していてとてもすごいと思いました。楽しく野球をできましたが、もう少し技術指導をしてもらいたかったです。

##### 中学生

・いつもの練習は少人数でしかできないので、たくさん的人数で野球ができたことが何よりもうれしかった。小学生を含め下級生に指導できたことは自分にとっては有意義でした。達成感を持つことができました。

#### 指導者

・指導者としても非常にやりがいのある野球スクールになりました。

野球の本当の楽しさ、達成感や一体感を多少なり伝えられたと思います。野球はチームスポーツ。小中学生、指導やサポートする大人、合わせて30人以上で活動できたので、子どもだけでなく大人にも良い経験になったと思います。

なかでも中学生と小学生の交流は、単なる年齢差以上に大きな意味がありました。

中学生が小学生に与える影響は、小学生の練習に対する意欲に重要な役割を果たし、中学生も小学生を指導することにより自己肯定感を高められたのではないかと思います。

野球を通して、子どもたちがなかまとともにスポーツを楽しむ心を育むことができたのではないかと考えています。

#### ●総括・今後に向けて

・昨年度は剣道で、本年度は野球をモデル事業として休日の部活動地域移行を実施した。

剣道、野球とも、学校部活動は存続している、移行期間を設け、指導方法や運営方法の丁寧な説明が無いと児童生徒だけでなく、保護者にもが混乱を招くことになりかねない。

以前から分かっていたことではあるが、学校部活動と地域クラブの調整が必要であり、実証事業の実施にあたって生じた課題であることを改めて感じさせられた。

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【ウォーミングアップ】



【ミーティング】



【ノック】



【ゲーム形式】

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

### 「河合町文化・スポーツ地域クラブ」実施までの年次計画



令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 奈良県 吉野町

自治体名：奈良県吉野町

担当課名：教育総務課

電話番号：0746-32-0190

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	95.65 km <sup>2</sup>
人口	5,834 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	87 人
部活動数	7 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

中学校部活動の状況は、運動部が5つ、文化部が2つ、合計7つの部が活動している。こどもの数は年々減少しており、令和6年度の部活動在籍生徒数は75名（引退した3年生含む）。こどもの減少に伴い顧問を務める教職員数も減少しており、7つの部活動の維持に教職員への負担が増している。教育委員会と学校では、令和4年度より、地域移行および部活動指導員の採用を含めた部活動改革について、検討を進めてきた。

令和5年度、令和6年度も実証事業として地域移行の形式を模索してきた。令和6年8月に吉野中学校部活動改革について多方面から意見を伺うための協議体として「吉野中学校部活動検討協議会」を設立。協議体の構成員は、PTA代表、スポーツクラブ代表、体育協会代表、スポーツ少年団代表、スポーツ推進員代表、学校管理職、教育委員会と

した。本協議会において、「吉野町地域クラブガイドライン」を策定し、これに基づき、行政直轄の地域クラブとなる「吉野さくら地域クラブ」を立ち上げる。11月には学校教職員説明会、12月に保護者説明会、令和7年1月に生徒説明会を実施し、2月から6種目の地域クラブをスタートできる状況まで整備した。

地域スポーツクラブとしては5種目「吉野さくらカヌークラブ」「吉野さくらバレーボールクラブ」「吉野さくら野球クラブ」「吉野さくら水泳クラブ」「吉野さくら陸上クラブ」を整備した。しかし、地域クラブの枠組みは整備したが、肝心の指導者について、ホームページおよび広報誌や関係者への声かけなど募集しているものの、全てのクラブの指導者確保には至らず、令和6年度実証事業として整備できたのは3種目のみであった（活動実績は1種目）。早期に指導者の確保を目指し、令和7年度に向けて地域クラブ活動を進めていきたい。

令和6年8月

検討協議会設置、協議開始



令和6年12月

ガイドライン、地域クラブ規約等制定



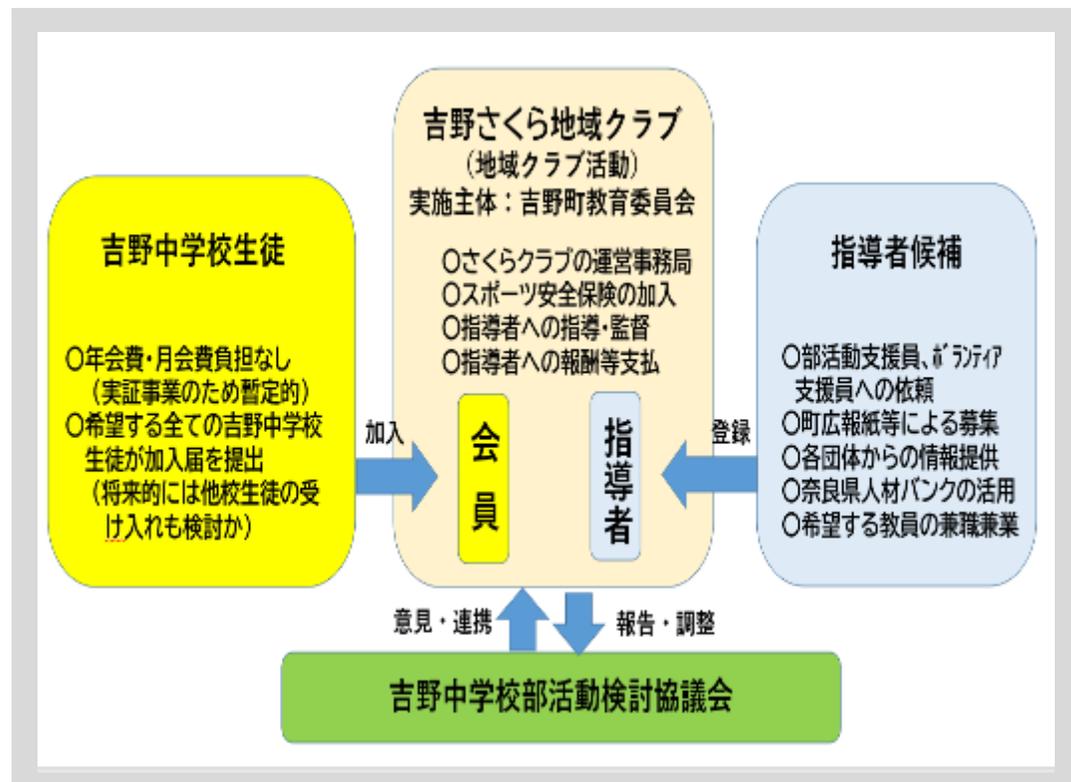
令和7年2月

地域クラブ活動（3種目）開始

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・地域スポーツクラブの運営全般
- ・検討協議会の開催

##### ◎首長部局

- ・役割なし

### 年間の事業スケジュール

令和6年4月4日	学校・教育委員会協議
令和6年5月7日	学校PTAとの懇談会
令和6年6月28日	学校・教育委員会協議
令和6年8月27日	検討協議会設置 第1回協議
令和6年11月26日	検討協議会第2回協議 ガイドライン・要綱制定
令和6年11月28日	吉野さくら地域クラブ 教職員説明会開催
令和6年12月13日	吉野さくら地域クラブ 保護者説明会開催
令和7年1月17日	吉野さくら地域クラブ 生徒説明会開催 入会受付開始
令和7年2月15日	吉野さくら地域クラブ活動開始

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	1校	実施した地域クラブ総数	3クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ（3部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		なし
全体の指導者数	5人	全体の運営スタッフ数	6人

#### ②各クラブに関すること

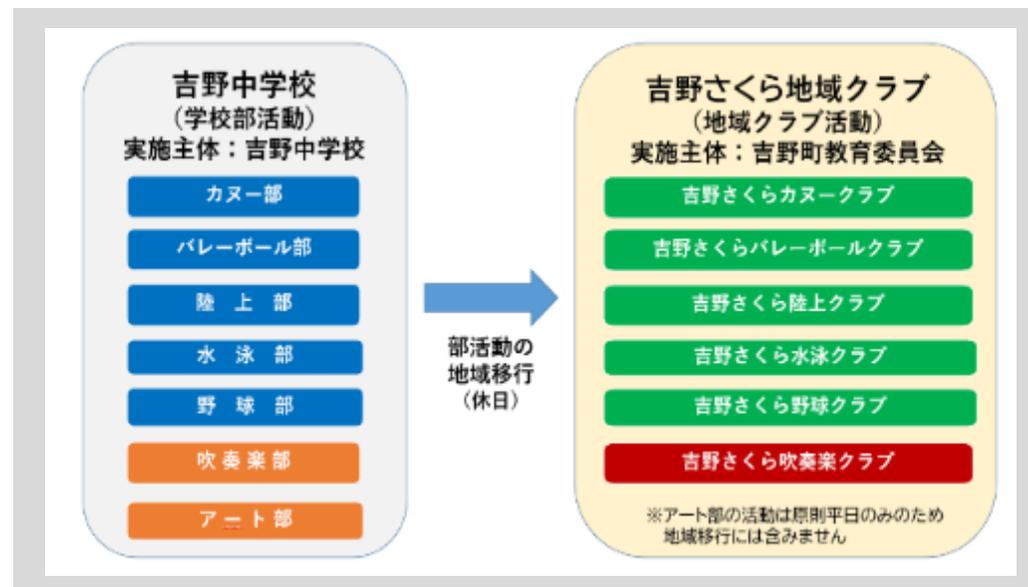
クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
吉野さくら地域クラブ	行政	バレーボール	週1回	土曜 午前8時から 12時	1年：4名 2年：2名	2月から	吉野さくら学園	2人	2人 (内、兼務0人)	なし	大会参加なし (大会は部活動として参加)
吉野さくら地域クラブ	行政	カヌー	週1回	土曜 午前8時から 12時	1年：1名 2年：8名	2月から	津風呂湖カヌー競技場	2人	2人 (内、兼務0人)	なし	大会参加なし (大会は部活動として参加)
吉野さくら地域クラブ	行政	陸上	週1回	土曜 午前8時から 12時	1年：1名 2年：1名	2月から	吉野さくら学園グラウンド	1人	1人 (内、兼務0人)	なし	大会参加なし (大会は部活動として参加)

## 主な取組例

### ●吉野さくら地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール
運営団体名	吉野町
期間と日数	2月15日 1回
指導者の主な属性	部活動指導員、OB
活動場所	吉野さくら学園体育館
主な移動手段	スクールバス利用
1人あたりの参加会費等(年額)	無料
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者(教育委員会職員)
  - 役割: 活動管理者として、学校・指導員との連携を行う
- 指導者 2名
  - 役割: 指導者として生徒への指導・安全管理等を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

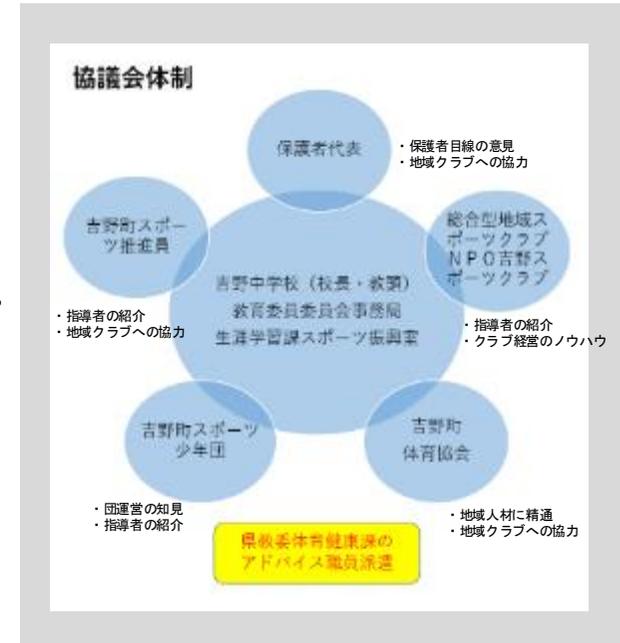
#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- 行政主導型地域スポーツクラブを推進するため、教育総務課が事務局となり、学校およびPTA、また、町内スポーツ関連団体との連絡調整等を行う。
- 吉野中学校部活動検討協議会を設置する。
- 「吉野さくら地域クラブ」組織体制の整備。

##### 取組の成果

- 事前に各関係団体との調整を進め、地域移行を含めた部活動改革の必要性に共感いただくことで、令和6年8月に検討協議会を設置することができた。
- 検討協議会において、平日の部活動のあり方や顧問の働き方改革など、多方面からの意見を集約して、行政主導型地域スポーツクラブ「吉野さくら地域クラブ」を立ち上げることができた。
- スポーツ関連団体との連携により、指導者候補の情報提供などの協力体制ができた。
- 行政主導型地域スポーツとして運営体制を構築する中で、他団体よりクラブ運営についてアドバイスをいただくことができた。また、学校PTA等にも意見聴取や説明会開催により、対話による地域クラブ設立を実践することができた。



##### コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・総括コーディネーターになる人材を探しているが現状不在であるため、教育総務課職員が総括コーディネーターとして活動させた。
- ・学校と生徒と地域クラブ（指導者）をつなぐため、毎回クラブ活動を巡回し、指導者へのヒアリングを実施した。

##### 今後の課題と対応方針

- ・まずは、コーディネート業務を担う人材を見つけることが最重要課題であり、公募等にむけた調整を進めていく。
- ・関係団体との連携を重視し、指導者講習などにも協力いただきながら運営体制を整備していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

- ・指導者の確保に向けての第1段階として、8月に部活動指導員を広く募集
- ・検討協議会に参画いただいた各スポーツ関連団体より指導者候補を推薦いただく
- ・2月よりホームページ等で継続的に指導者募集を実施

指導者登録属性	種目	資格有無
職業	・バレーボール	・部活動指導員
・公務員 1名	・カヌー	・部活動OB
・団体職員 2名	・陸上	
・その他 2名		

##### 取組の成果

- ・本来、5つの種目をスタートさせるため指導者募集を実施したが思うように応募者を集めることができなかった。それでも、現時点で3種目5名を確保することができたので、3種目から地域移行をスタートさせた。
- ・2月から地域クラブ活動開始となり、2月15日の実証事業では3種目とも指導者を用意したが、うち2種目について子どもたちの参加者が0人となったため、実質の活動実績は1種目のみとなった。
- ・関係団体との連携により指導者を推薦いただくことができた。

##### 今後の課題と対応方針

- ・指導者研修を実施することができなかったため、今後は指導にあたっての必須事項とするなど検討協議会で協議していく。また、指導者の質をどの水準まで求めるかについても検討する必要がある。
- ・平日と休日の指導者間の効率的・効果的な連携方策について検討する必要がある。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和4年度より、学校と教育委員会の話し合いからスタートした本町の休日部活動の地域移行の取り組みは、令和5年度の実証事業では具体的なかたちにならず、令和6年度も年度当初から学校およびPTAとも早い段階から協議を進めてきたが調整に時間を要した。8月ようやく検討協議会設立となり、その後は丁寧に説明会を開催して合意形成を図り事業を進めることができた。2月には地域クラブ「吉野さくら地域クラブ」活動開始した。

「吉野さくら地域クラブ」は、行政主導型地域クラブとして、吉野中学校のこどもたちの受け皿となり、既存の部活動をひとつも減らすことなく、今後もこどもたちの選択肢を維持するために学校部活動と連携しながら活動していく方針である。

本年度の大きな成果は、まずは体制づくりができたことである。とにかくやってみようという検討協議会からの意見もあり、本格稼働となる令和8年4月に向け、活動しながら修正を加えていく。

そして一番の課題となる指導者確保。地域クラブの枠組みは整備したが、肝心の指導者について、ホームページおよび広報誌や関係者への声かけなど募集しているものの、全てのクラブの指導者確保には至っていないため、早期に指導者の確保を目指し、具体的な対策を実施していく。

#### ●成果の評価

検討協議会設置を含め、「吉野さくら地域クラブ」運営体制づくりが多くの関係者の意見を踏まえて完成したことが一番の成果である。

#### ●今後に向けて

活動開始が2月となったため、まだ活動回数も少なく、様々な検証はこれからとなるため、まずは毎週活動を継続させて実績を積み、検討協議会で内容修正などについて検討を進めたい。令和8年4月の休日全ての地域移行を目指し令和7年度も実証事業を継続していく。



## 2.実証内容と成果③

### 参考資料（活動写真）



【バレーボールクラブの活動風景】



【バレーボールクラブの活動風景】



【バレーボールクラブの活動風景】



【バレーボールクラブの活動風景】

## 2.実証内容と成果④

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ●ステークホルダー

学校、町教育総務課、町生涯学習課  
吉野スポーツクラブ、体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進員

#### ●経過

令和6年8月「吉野中学校部検討協議会」を設置し、行政主導型地域クラブ設立にむけて協議を進めた。協議会においてガイドライン、規約等について検討し運営体制づくりを実施した。また、合意形成に向けたプロセスに沿い、丁寧に説明会を実施し、令和7年2月に指導者が確保できた種目から活動を開始した。

#### ●実施内容、工夫した点等

本年度はほとんどが検討期間となり、活動自体は始まったばかりの状況である。

指導者確保に向けて、関係団体への協力依頼の結果、確保することができた。

#### ●実施にあたって生じた課題

体制づくりはできたが指導者が確保できない。ホームページや広報等で募集しても思うように集まらず、今後も一番の課題である。

また、地域クラブ活動として、練習案内や連絡事項を生徒指導者間でやりとりする方法が定まっていないため、学校（顧問）を経由して通知する状況であるため、検討が必要である。

#### ●今後の展開

活動開始が2月となったため、まだ活動回数も少なく、様々な検証はこれからとなるため、まずは毎週活動を継続させて実績を積み、検討協議会で内容修正などについて検討を進めたい。

令和8年4月の休日全ての地域移行を目指し令和7年度も実証事業を継続していく。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

2月 2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)
<p>吉野さくら地域クラブ活動 実施 (実証事業の効果検証・内容修正等)</p>		<p><b>休日部活動の地域移行</b></p>
<p>吉野さくらバレーボールクラブ</p>	<p>吉野さくらバレーボールクラブ</p>	
<p>吉野さくらカヌークラブ</p>	<p>吉野さくらカヌークラブ</p>	
<p>吉野さくら陸上クラブ</p>	<p>吉野さくら陸上クラブ</p>	
<p>指導者の確保 確保次第開始</p> <p>吉野さくら野球クラブ</p>	<p>吉野さくら野球クラブ</p>	
<p>吉野さくら水泳クラブ</p>	<p>吉野さくら水泳クラブ</p>	